

通報機能のご紹介

2014/9/5
Rev 3

目次

■商標について	5
■ご注意.....	5
■本書について	5
■用語集.....	6
1. はじめに	7
2. 通報の種類	8
2.1. お客様ご自身による通報管理	8
2.2. エクスプレス通報サービスによる通報管理.....	9
2.2.1. エクスプレス通報サービスの利用方法	13
2.2.2. 通報の監視から確認までの流れ.....	13
2.2.3. セキュリティについて	15
3. 通報方式(お客様ご自身による通報管理の場合)	16
3.1. 電子メール通報.....	16
3.2. SNMP 通報.....	18
4. 通報方式(エクスプレス通報サービスを利用する場合).....	20
4.1. 電子メール通報.....	20
4.1.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合	20
4.1.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合.....	21
4.1.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合	22
4.2. HTTPS 通報	23
4.2.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合	23
4.2.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合.....	23
4.2.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合	24
4.3. ダイアルアップ通報	25
4.3.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合	25
4.3.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合.....	25
4.3.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合	26
5. 通報設定方法(お客様ご自身による通報管理の場合)	27
5.1. 電子メール通報.....	27
5.1.1. ESMPRO/SA から通報する場合.....	27
5.1.2. EE3 から通報する場合	28
5.2. SNMP 通報.....	33
5.2.1. ESMPRO/SA から通報する場合.....	33
5.2.2. EE3 から通報する場合	34
6. 通報設定方法(エクスプレス通報サービス)	39
6.1. 電子メール通報.....	41
6.1.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合	41
6.1.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合.....	42
6.1.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合	42

6.2. HTTPS 通報	43
6.2.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合	43
6.2.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合	43
6.2.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合	43
6.3. ダイヤルアップ通報	44
6.3.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合	44
6.3.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合	44
6.3.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合	44
■付録	45
■改版履歴	46

図表目次

Figure 1	お客様ご自身による通報管理	8
Figure 2	エクスプレス通報サービスの流れ 一般的な場合	9
Figure 3	エクスプレス通報サービス開局までの全体フロー	9
Figure 4	エクスプレス通報サービス導入フロー（通信手段編）	9
Figure 5	エクスプレス通報サービス導入フロー（通報ルート編）	9
Figure 6	エクスプレス通報の特徴	13
Figure 7	電子メール通報	14
Figure 8	電子メール通報 通報例	15
Figure 9	SNMP 通報	16
Figure 10	通報表示画面(ESMPRO/SM)	17
Figure 11	電子メール通報(エクスプレス通報サービス)	18
Figure 12	電子メール通報(エクスプレス通報サービス)	19
Figure 13	電子メール通報(エクスプレス通報サービス)	20
Figure 14	HTTPS 通報(エクスプレス通報サービス)	21
Figure 15	HTTPS 通報(エクスプレス通報サービス)	21
Figure 16	HTTPS 通報(エクスプレス通報サービス)	22
Figure 17	ダイヤルアップ通報(エクスプレス通報サービス)	23
Figure 18	ダイヤルアップ通報(エクスプレス通報サービス)	24
Figure 19	ダイヤルアップ通報(エクスプレス通報サービス)	24
Figure 20	電子メール通報(ESMPRO/SA)	25
Figure 21	電子メール通報設定(EE3 WebConsole)	27
Figure 22	電子メール通報設定画面(ESMPRO/SM)	28
Figure 23	電子メール通報設定画面(Off-line BMC Configuration Tool)	29
Figure 24	電子メール通報設定画面(On-line BMC Configuration Tool)	30
Figure 25	SNMP Service 設定画面	31
Figure 26	SNMP 通報設定画面(EXPRESSSCOPE エンジン 3 WebConsole)	33
Figure 27	SNMP 通報設定画面(ESMPRO/SM)	34
Figure 28	SNMP 通報設定画面(Off-line BMC Configuration Tool)	35
Figure 29	SNMP 通報設定画面(On-line BMC Configuration Tool)	36
Figure 30	電子メール通報(ESMPRO/SA)	39
Figure 31	電子メール通報(エクスプレス通報サービス(MG))	40
Table 1	用語集	6
Table 2	エクスプレス通報サービスの各通報方式の特徴と留意点	12
Table 3	エクスプレス通報サービスの申込み対象と留意点	14
Table 4	エクスプレス通報サービスの開局対象	40

■商標について

ESMPRO、EXPRESSSCOPEは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Xeon は米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

■ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可無く複製・改変などを行うことはできません。
4. 運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承ください。

■本書について

本書は、Express5800 シリーズおよび、一部の iStorage シリーズの通報機能に関する説明の資料です。サーバや関連ソフトウェアの通報機能をご利用の際に参考にしてください。本書の内容は、ESMPRO、BMC Configuration、EXPRESSSCOPE エンジン 3 の機能や操作方法について理解されている方を対象に説明しています。これらに関する操作や不明点については、ユーザーズガイドもしくはオンラインヘルプ等を参照してください。

本書に掲載されている画面イメージ上に記載されている名称は、全て架空のものです。実在する品名、団体名、個人とは一切関係ありません。また、画面イメージ上の設定値は例であり、設定値についての動作保証を行うものではありません。

■用語集

本書で用いる用語です。

Table 1 用語集

用語	説明
IPMI	Intelligent Platform Management Interface の略です。 システムや OS に依存することなく、サーバを管理するための標準 インターフェイス仕様です。
BMC	Baseboard Management Controller の略です。 システムの状態や OS に依存すること無く、システムのハードウェ アの監視、通知を行う管理用コントローラです。
BMC Configuration	BMC の設定を行うためのツールです。 Windows/Linux の OS 上から操作するものと、装置起動時に操作可 能であるサーバ内蔵 ROM 版があります。
ESMPRO/SM	ESMPRO/ServerManager の略です。
ESMPRO/SA	ESMPRO/ServerAgent の略です。 管理対象サーバの OS 上で動作します。
アラートビューア	ESMPRO/SM の Web から起動可能である、通報表示ツールです。
管理サーバ	ESMPRO/SM をインストールするサーバです。 サーバの管理に利用されます。パソコンの利用や、管理対象サーバ 自身を管理サーバとして利用することも可能です。
管理対象サーバ	ESMPRO/SM が管理するサーバです。
EXPRESSSCOPE エンジン 3	Express5800 サーバ向けの管理用コントローラです。 一部の最新サーバに搭載されており、様々な機能と提供します。 IPMI に準拠した BMC の機能を包含しています。
EE3	EXPRESSSCOPE エンジン 3 の略です。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略です。
POST	Power On Self Test の略です。 装置の電源を投入後、NEC のロゴが表示されている期間を指しま す。

1. はじめに

NEC Express5800 シリーズ、iStorage シリーズ、そして関連ソフトウェアには、サーバ/管理対象サーバの障害予知や障害情報をお客様または保守会社に通知するための様々な機能が備わっています。本書では、各種通報方式に関するご説明と、環境を構築するに当たって必要な作業のご説明を記載しています。

2. 通報の種類

NEC Express5800 サーバ、iStorage シリーズの通報には、大きく分けて以下の 2 通りがあります。それぞれ複数の通報方式から選択が可能です。詳細は次章以降を参照してください。

1. お客様ご自身による通報管理
2. エクスプレス通報サービスによる通報管理

2.1. お客様ご自身による通報管理

EE3 や ESMPRO/SA から電子メールまたは SNMP で通報します。それぞれメール送信(SMTP)サーバの設置または ESMPRO/SM のインストールが必要です。

また、ESMPRO/SA から任意の宛先に電子メール通報を行うためには、WebSAM AlertManager のライセンスが別途必要です。

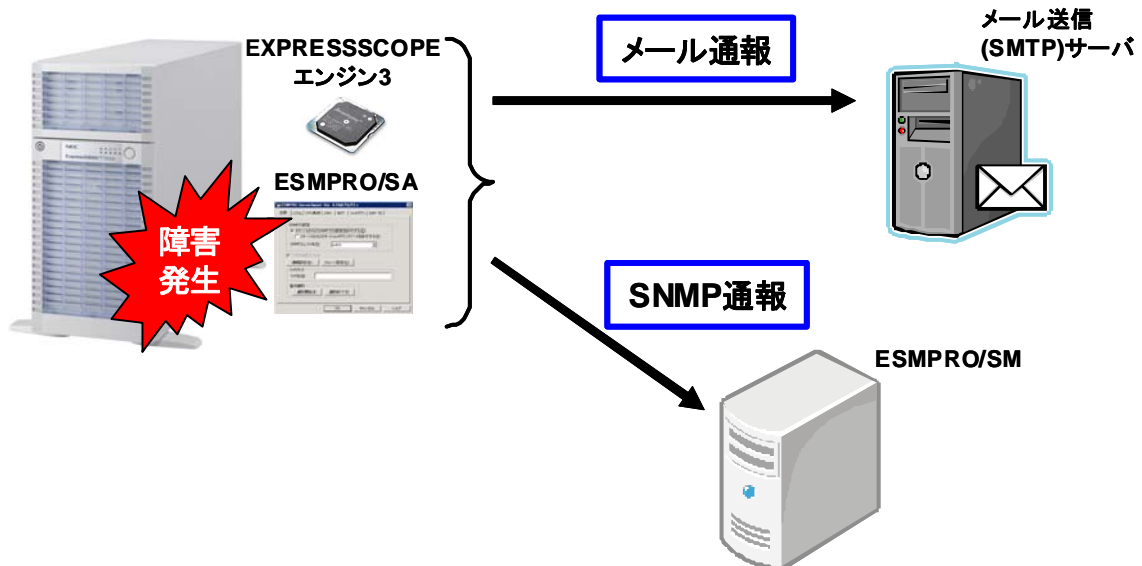


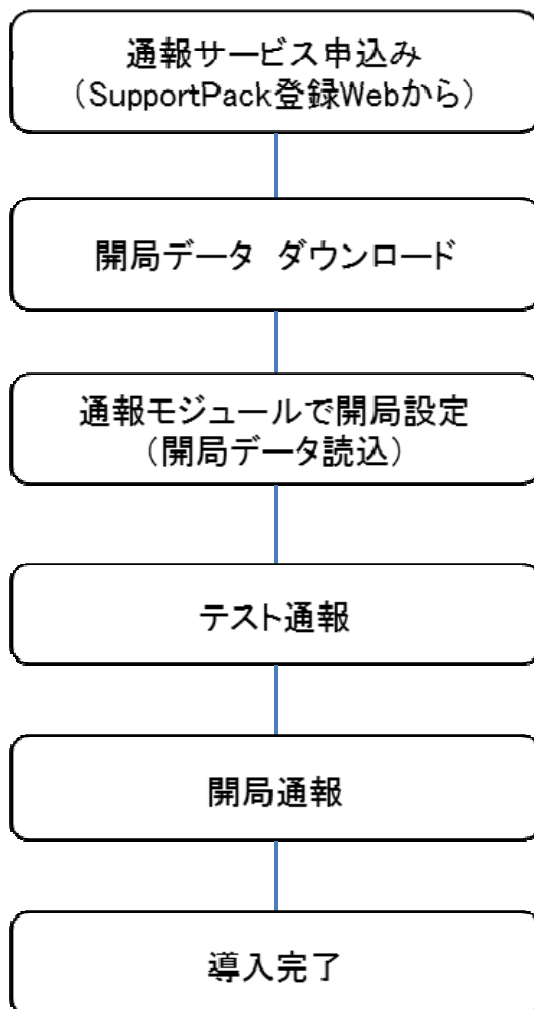
Figure 1 お客様ご自身による通報管理

2.2. エクスプレス通報サービスによる通報管理

「エクスプレス通報サービス」にお申し込み頂く必要があります。「エクスプレス通報サービス」は、ハードウェアの障害をいち早く検出し、直ちにお客様へと連絡するサービスです。迅速に保守作業を実施することが可能なため、予兆を検出し、万一のシステムダウンを未然に防止できるのはもちろん、システムの停止時間を最小化できます。

通報は ESMPRO/SA、ESMPRO/SM から監視センターに行います。通報方式には通信手段に応じて、電子メール通報、HTTPS 通報、ダイヤルアップ通報があります。また、通報ルートに応じて、3 つの方式が選択可能です。各通報方式（通信手段 x 通報ルート）の選択方法および特徴と留意点については次ページ以降を参照してください。

一般的な場合の流れ（※）



※ SupportPackをご購入いただき、
Windows/Linuxのプリインストールモデルで、
ESMPRO/SAから直接 HTTPSで通報する場合

Figure 2 エクスプレス通報サービス の流れ

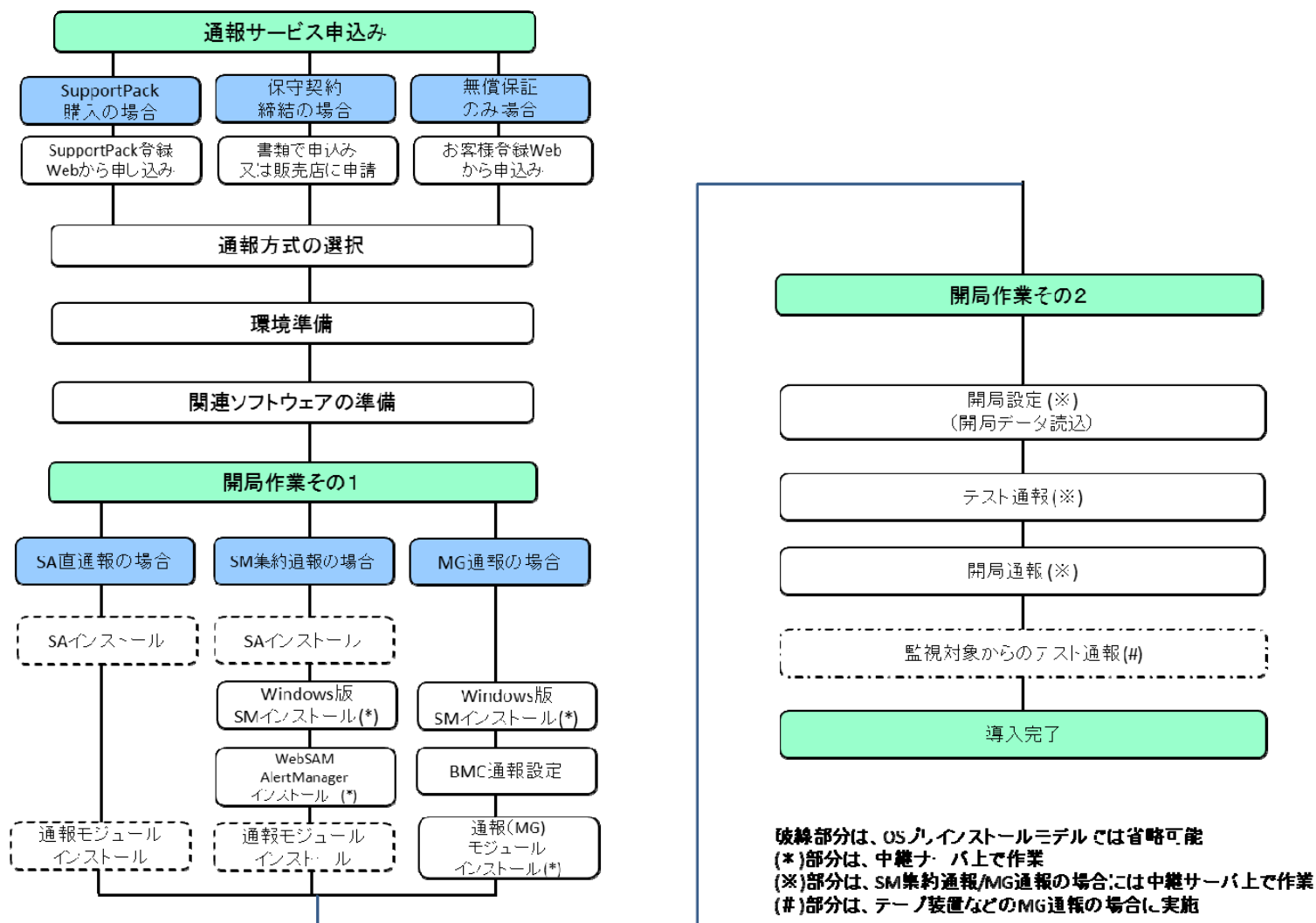


Figure 3 エクスプレス通報サービス 開局までの全体フロー

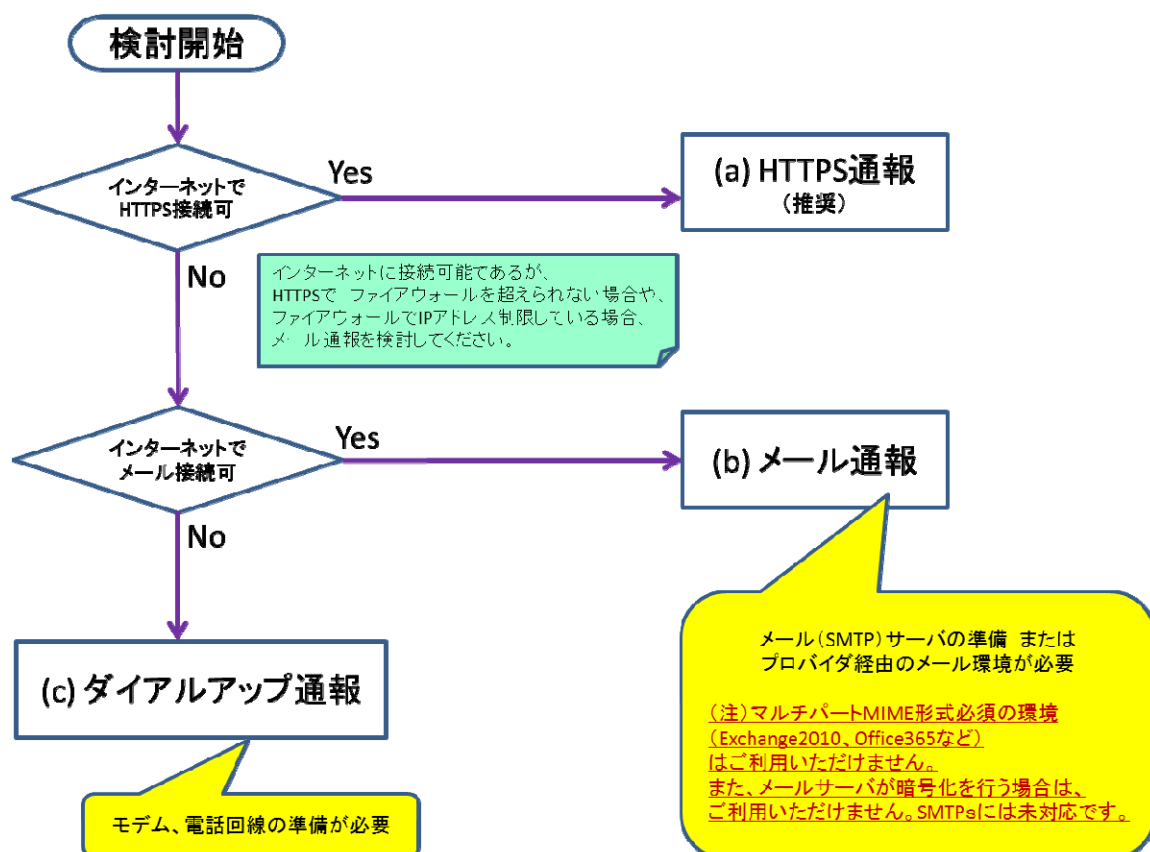


Figure 4 エクスプレス通報サービス導入フロー（通信手段編）

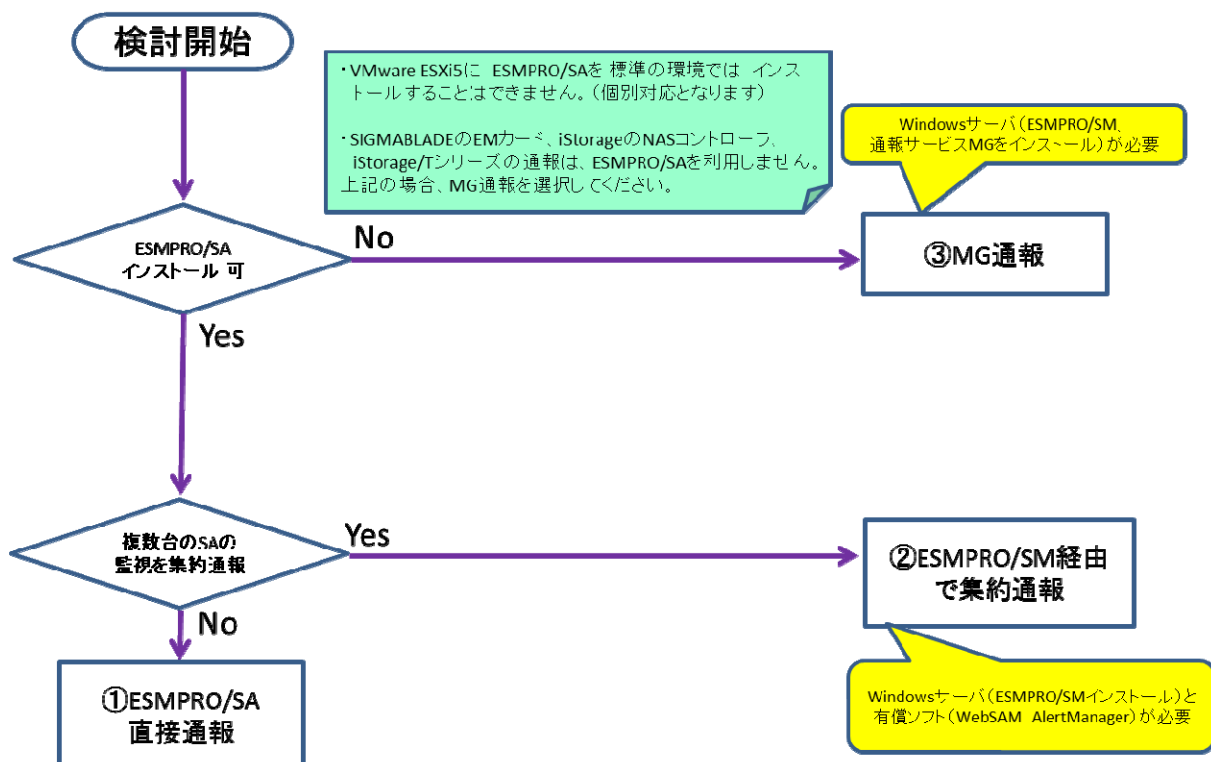


Figure 5 エクスプレス通報サービス導入フロー（通報ルート編）

Table 2 エクスプレス通報サービスの各通報方式の特徴と留意点

通報ルート \ 通信手段	◆メール通報 (特徴) ・ 容易に通報可能(*1) ・ 通信コストはほぼゼロ	◆HTTPS 通報 (特徴) ・ ログデータの送付が可能 ・ メールサーバ不要 ・ 高度な暗号化で安心	◆ダイヤルアップ通報 (特徴) ・ インターネット接続無しで通報が可能
◆ESMPRO/SA から直接通報 (特徴) ・ 通報対象のサーバ設定のみで通報が可能	・ iStorage/D,M シリーズの場合、iStorageManager(有償)のインストールが必要	同左	同左
◆ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で集約通報 (特徴) ・ ESMPRO/SM で複数のサーバを一元管理可能 ・ ESMPRO/SM で運用状態を確認可能	・ ESMPRO/SM の他に WebSAM AlertManager(有償)が必要 ・ iStorage/D,M シリーズの場合、iStorageManager(有償)のインストールが必要	同左	同左
◆MG 通報 (EE3 等から ESMPRO/SM 経由で通報) (特徴) ・ OS 起動前の障害も通報可能 ・ ESMPRO/SM で運用状態を確認可能	・ ESMPRO/SM の他にエクスプレス通報サービス(MG)(*2)のインストールが必要 ・ iStorage/D,M シリーズは対象外	同左	同左

(*1)ISP(BIGLOBE 推奨)のメールサーバを利用可能

(*2)EXPRESSBUILDER に格納されています

(注) 下記の装置を監視するため、それぞれ以下のソフトウェアが必要となります。

UPS の監視 : ESMPRO/UPS Manager (有償) または ESMPRO/AutomaticRunningController (有償)

RAID コントローラおよびサーバ内蔵ディスクアレイの監視 : Universal RAID Utility (EXPRESSBUILDER に格納)

なお、VMware ESXi 5 で RAID 監視、設定を行う場合は、LSI CIM Provider (SMI-S Provider)をインストールする必要があります。

詳細は、右記 URL を参照ください。 <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/vs5/ver.html>

2.2.1. エクスプレス通報サービスの利用方法

「エクスプレス通報サービス」をご利用いただく方法として、以下の 4 タイプがあります。それぞれお申込みが必要となります。対象装置ごとの申込みの留意点については、次ページの表を参照ください。

1. **ExpressSupportPack G2/G3 または PlatformSupportPack を契約する**
本保守サービスにはエクスプレス通報サービスも含まれます。お申し込み頂くことで、エクスプレス通報サービスをご利用頂けます。
2. **ハードウェア保守契約を締結する**
本保守契約にはエクスプレス通報サービスも含まれます。
3. **エクスプレス通報サービスを申込み(一年保証モデルの製品保証期間中は無償)**
一年保証モデルの製品保証期間中、又は G モデル/ECO CENTER/スケーラブル HA サーバ以外の三年保証モデルは、購入製品のお客様登録を行うことでエクスプレス通報サービスを一年間無償で利用することが可能です。付録に記載の【NEC ビジネス PC/PC サーバ お客様登録 (ClubExpress)】のリンクを参照してください。
4. **エクスプレス通報サービスを申込み(製品保証期間終了後は有償)**
製品保証期間終了後も引き続き通報サービスを利用する場合、ExpressSupportPack または PlatformSupportPack の契約、またはエクスプレス通報サービスの継続契約が必要です。

2.2.2. 通報の監視から確認までの流れ

1. **通報の監視**
通信回線を介してお客様の装置からの通報状況を、監視センターにて 24 時間 365 日監視致します。
2. **通報のご連絡**
通報を受信した場合はその内容を解析したのち、本サービスの提供時間帯(契約タイプにより異なります)の範囲内で、速やかにお客様に電話でご連絡いたします。ご連絡は、全国 400 ヶ所(2011 年 3 月時点)のサービス拠点網のうち、お客様担当のサービス拠点から行います。
3. **保守作業との連携**
お客様へ、通報の発生のご連絡とともに、保守作業員の手配等を行います。



4. **通報発生状況のご確認**
通報発生状況はお客様ご自身で、Web サイト「ClubExpress」で、過去 1 年間における通報状況をご確認いただけます。付録に記載の【NEC ビジネス PC/PC サーバ お客様登録(ClubExpress)】のリンクを参照してください。

Table 3 エクスプレス通報サービスの申込み対象と留意点

監視対象装置	通報サービス申込み対象	備考
Express5800/50シリーズ	監視対象 1台単位	
Express5800/100シリーズ	監視対象 1台単位	
FTサーバ(300シリーズ)	監視対象 1台単位	
SIGMABLADE CPUブレード	監視対象 1台単位	
SIGMABLADE 収納ユニット	EMカード 1枚単位	
スケーラブルHAサーバ	監視対象 1台単位	機種固有の通報サービスについては 各装置の説明書等を参照ください
NX7700x シリーズ	監視対象 1台単位	機種固有の通報サービスについては 各装置の説明書等を参照ください
UNIVERGE SG3600シリーズ	監視対象 1台単位	保守契約またはSupportPack購入必須 ハードウェア(Express5800シリーズ)の型番/ 品名で申込み
iStorage NSシリーズ	監視対象 1台単位	
iStorage Dシリーズ/Mシリーズ	上位装置の申込みに含まれる	保守契約またはSupportPack購入必須 機種固有の通報サービスについては 各装置の説明書等を参照ください
iStorage NASオプション	NASコントローラの組単位 (2台1組)	保守契約必須
iStorage Tシリーズ	監視対象 1台単位	保守契約必須 機種固有の通報サービスについては 各装置の説明書等を参照ください
外付けUPS	上位装置の申込みに含まれる	

2.2.3. セキュリティについて

エクスプレス通報サービスは発信機能のみを提供しますので、外部からのアクセスに対しては動作しません。また、通報内容は暗号化されるため、安心してご利用頂けます。

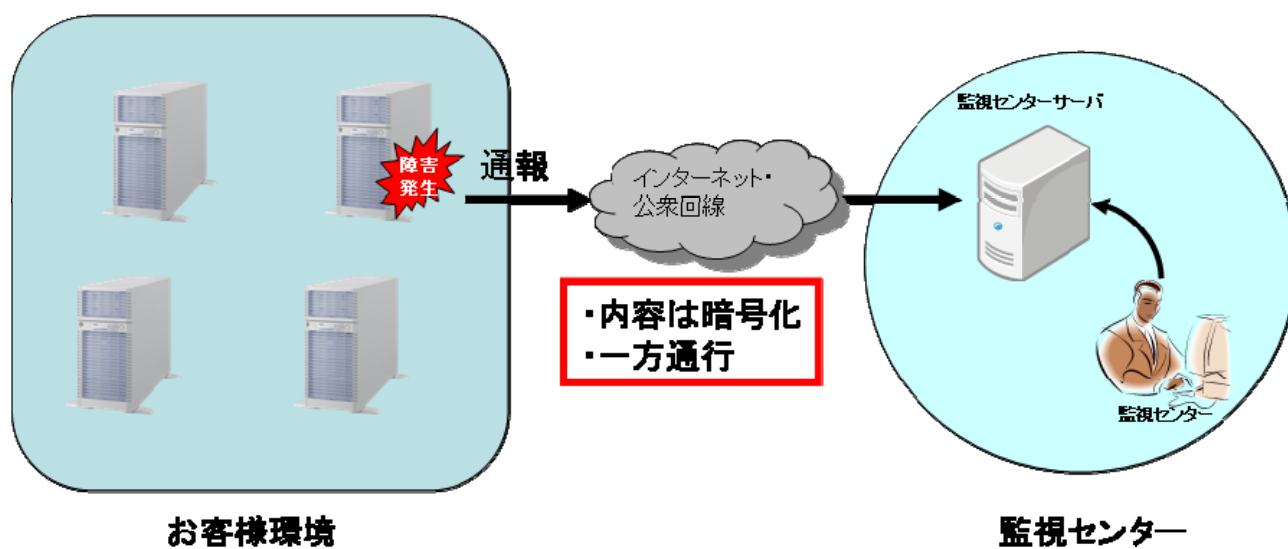


Figure 6 エクスプレス通報の特徴

3. 通報方式(お客様ご自身による通報管理の場合)

お客様ご自身による通報管理の場合、通報方式には以下の 2 通りがあります。本章では各通報方式について記載します。

1. 電子メール通報
2. SNMP 通報



EE3 から行われる通報にはシステムに設定した時刻が、ESMPRO/SA から行われる場合は OS に設定した時刻が記録されます。

3.1. 電子メール通報

「電子メール通報」は、電子メールを用いた通報方式です。障害発生時に EE3 や ESMPRO/SA がメール送信(SMTP)サーバに接続し、指定されたメールアドレスに対して通報を行います。メール送受信サーバが必要です。EE3 を用いる場合は、OS 起動前の状態でも通報が可能です。

また、ESMPRO/SA から任意の宛先に電子メール通報を行うためには、WebSAM AlertManager のライセンスが別途必要です。

なお、EE3 及び ESMPRO/SA の両方に電子メール通報の設定を行った場合、一つのイベントで通報は重複して行われます。



Figure 7 電子メール通報

電子メール通報のテスト通報には以下のような内容が含まれます。

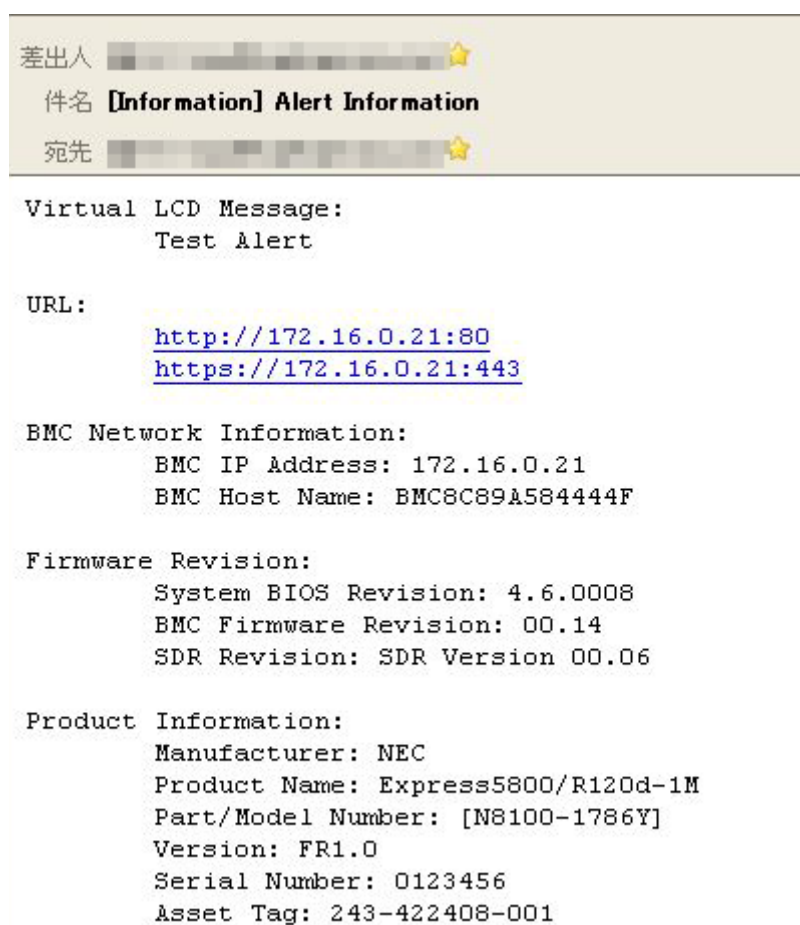


Figure 8 電子メール通報 通報例

3.2. SNMP 通報

「SNMP 通報」は、サーバ管理ソフトウェアである ESMPRO/SM に対して、EE3 や ESMPRO/SA から通報を行う機能です。通報内容はブラウザで ESMPRO/SM にログインし、「アラートビューア」を起動して確認します。ESMPRO/SM の用意が必要です。EE3 を用いる場合は、管理対象サーバの OS が起動する前の状態でも通報が可能です。

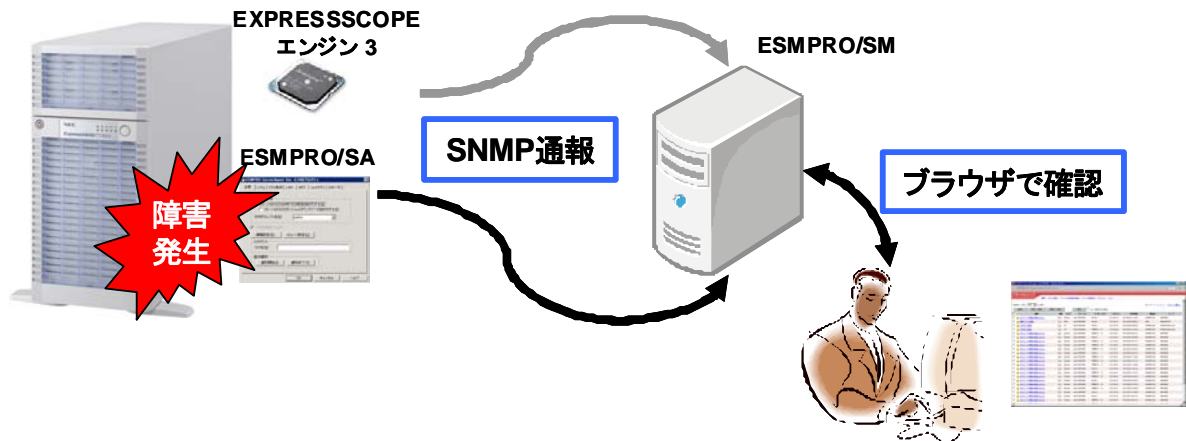


Figure 9 SNMP 通報

なお、管理対象サーバの OS 上で ESMPRO/SA が動作している場合、EE3 からの通報は抑止され、ESMPRO/SA からのみ SNMP 通報が行われるため、電子メール通報とは違い、通報は重複しません。

SNMP 通報のテスト通報は ESMPRO/SM のアラートビューア上で以下のように表示されます。

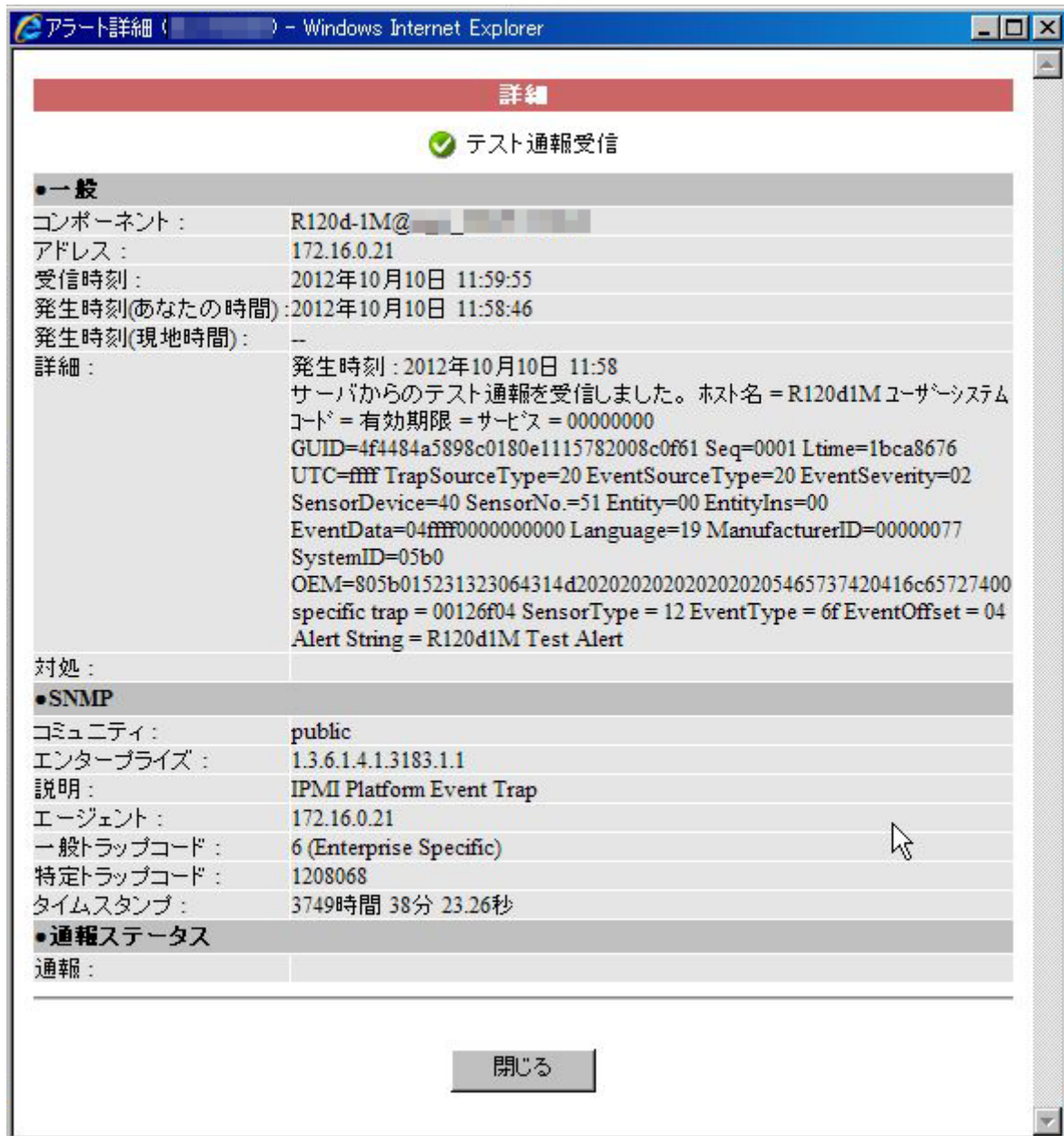


Figure 10 通報表示画面(ESMPRO/SM)

4. 通報方式(エクスプレス通報サービスを利用する場合)

エクスプレス通報サービスを利用する場合、その通報方式には大きく分けて以下の3通りがあります。本章では、各通報方式について記載します。電子メール通報およびダイヤルアップ通報の場合、保守作業に必要な最低限のトラブル情報のみ通報されます。HTTPS 通報の場合は加えて最低限のログ情報も通報されるため、より迅速な原因究明に繋がります。なお、エクスプレス通報サービスを利用される場合、下記3方式からどれか一つを選択して頂く必要があります。通報方式の選択方法については、Figure 2,3 および Table 2 を参照ください。

1. 電子メール通報
2. HTTPS 通報
3. ダイヤルアップ通報



EE3 から行われる通報にはシステムに設定した時刻が、ESMPRO/SA から行われる場合は OS に設定した時刻が記録されます。

4.1. 電子メール通報

「電子メール通報」は、電子メールを用いた通報方式です。障害発生時に ESMPRO/SA がメール送信(SMTP)サーバに接続し、監視センターに対して通報を行います。EE3 および ESMPRO/SA からの通報を ESMPRO/SM に集約し、ESMPRO/SM から監視センターにメール送信を行うことも可能です。

お客様側でメール送信サーバを用意して頂く必要があります。ISP(BIGLOBE 推奨)のメール送信サーバをご利用頂くことも可能です。

4.1.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合

ESMPRO/SA から直接エクスプレス通報サービスを利用する場合です。監視センターへはインターネットを通して電子メールが送信されますが、通報内容は ESMPRO/SA によって暗号化される為、安全に監視センターに通報されます。

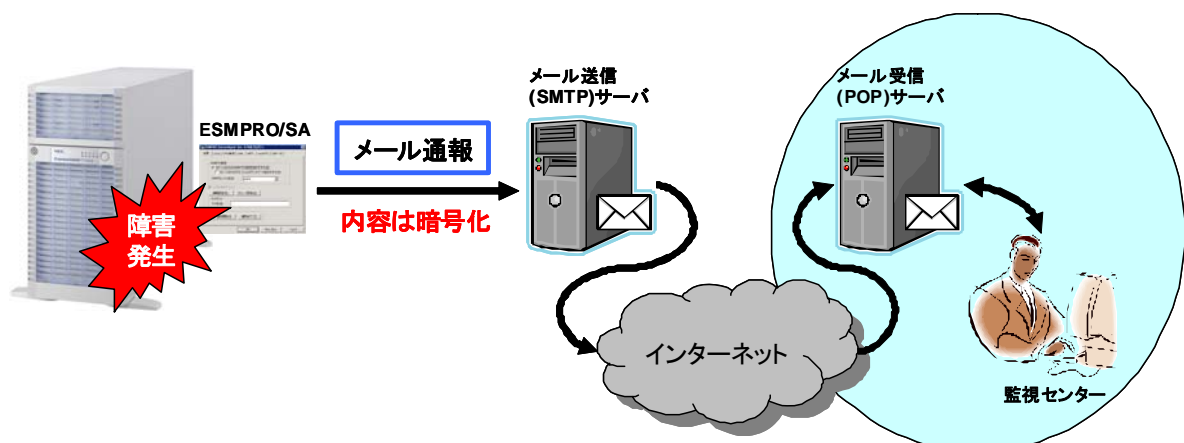


Figure 11 電子メール通報(エクスプレス通報サービス)

4.1.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

ESMPRO/SA から一旦 ESMPRO/SM に通報を集約させ、ESMPRO/SM から監視センターへ通報を行うことが可能です。ESMPRO/SA から直接通報を行う場合と同様に内容は暗号化されるため、安全に監視センターに通報されます。お客様側で ESMPRO/SM およびメール送信サーバの用意が必要です。なお、WebSAM AlertManager のライセンスが別途必要です。

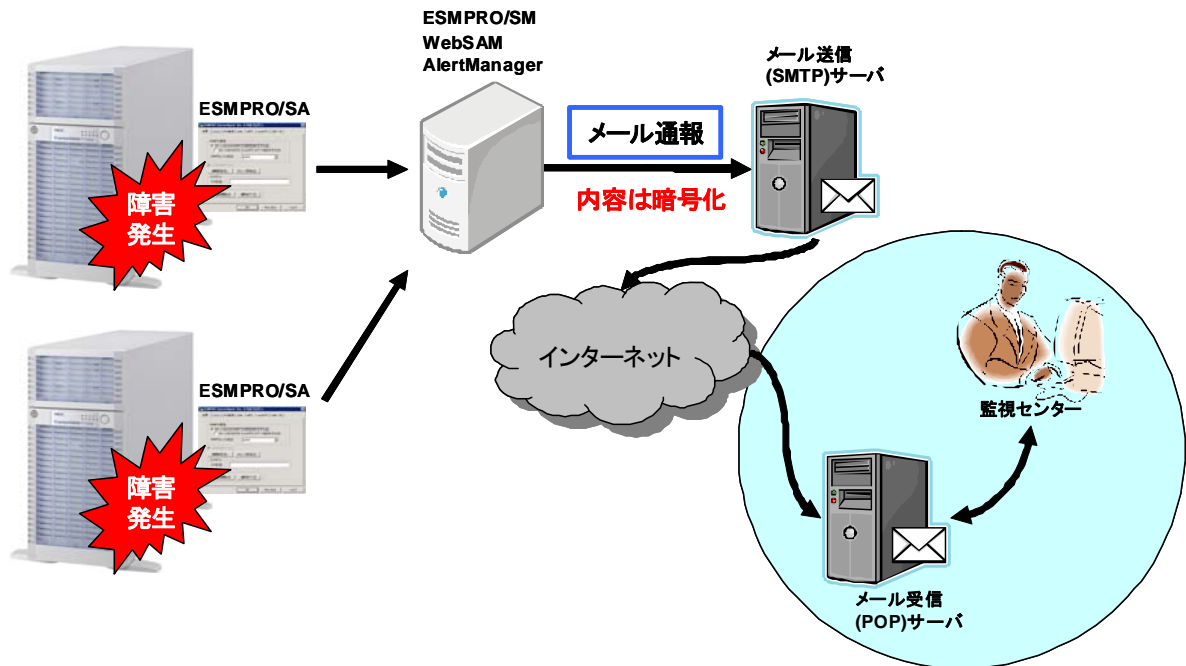


Figure 12 電子メール通報(エクスプレス通報サービス)

4.1.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

EE3 からの通報を一旦 ESMPRO/SM で受け、その後エクスプレス通報サービスの監視センターに電子メールで通報を行う場合です。ESMPRO/SM の他に、EXPRESSBUILDER に格納されている「エクスプレス通報サービス(MG)」のインストールが必要です。EE3 を用いる為、OS 起動前の状態でも通報が可能です。

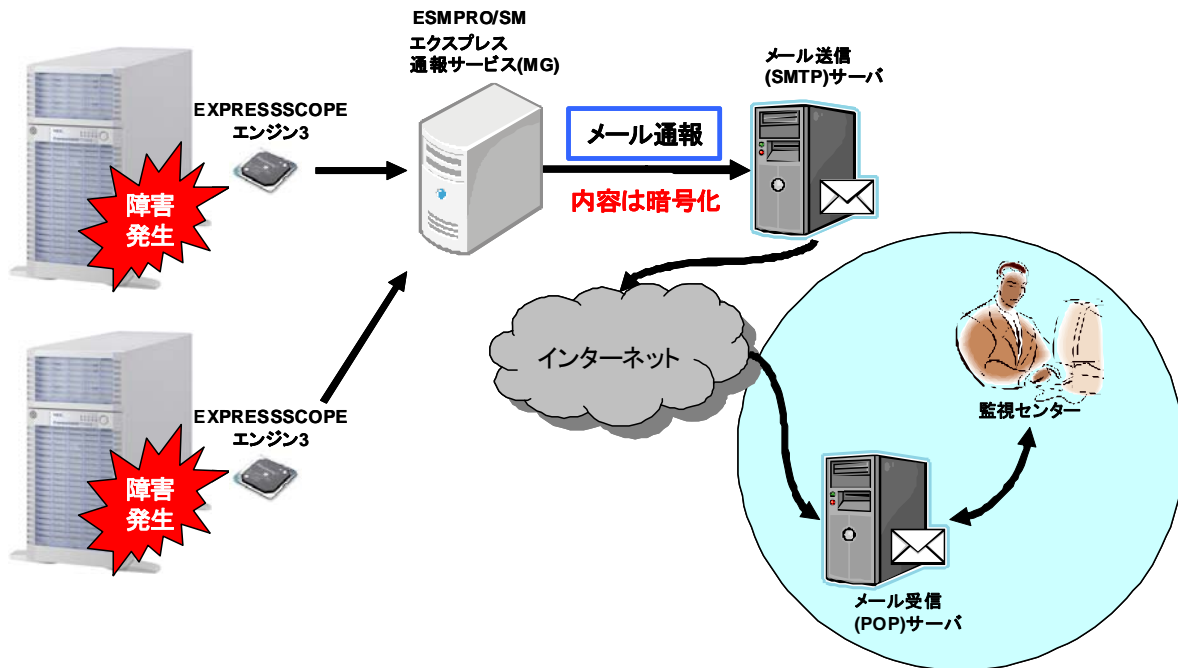


Figure 13 電子メール通報(エクスプレス通報サービス)

4.2. HTTPS 通報

「HTTPS 通報」は、「エクスプレス通報サービス」で ESMPRO/SA または ESMPRO/SM が行う通報方式の一つです。本通報方式では、インターネットを通して通報されますが、通信に HTTPS を用いる為、安全に監視センターに通報されます。

4.2.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合

ESMPRO/SA から直接エクスプレス通報サービスを用いる場合です。

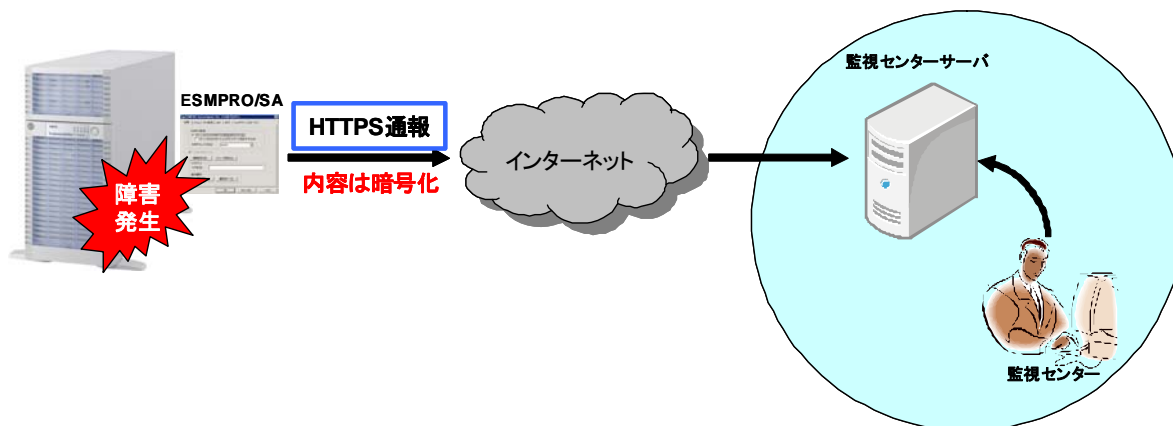


Figure 14 HTTPS 通報(エクスプレス通報サービス)

4.2.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

ESMPRO/SA から一旦 ESMPRO/SM に通報を集約させ、ESMPRO/SM から監視センターへ通報を行うことが可能です。なお、WebSAM AlertManager のライセンスが別途必要です。

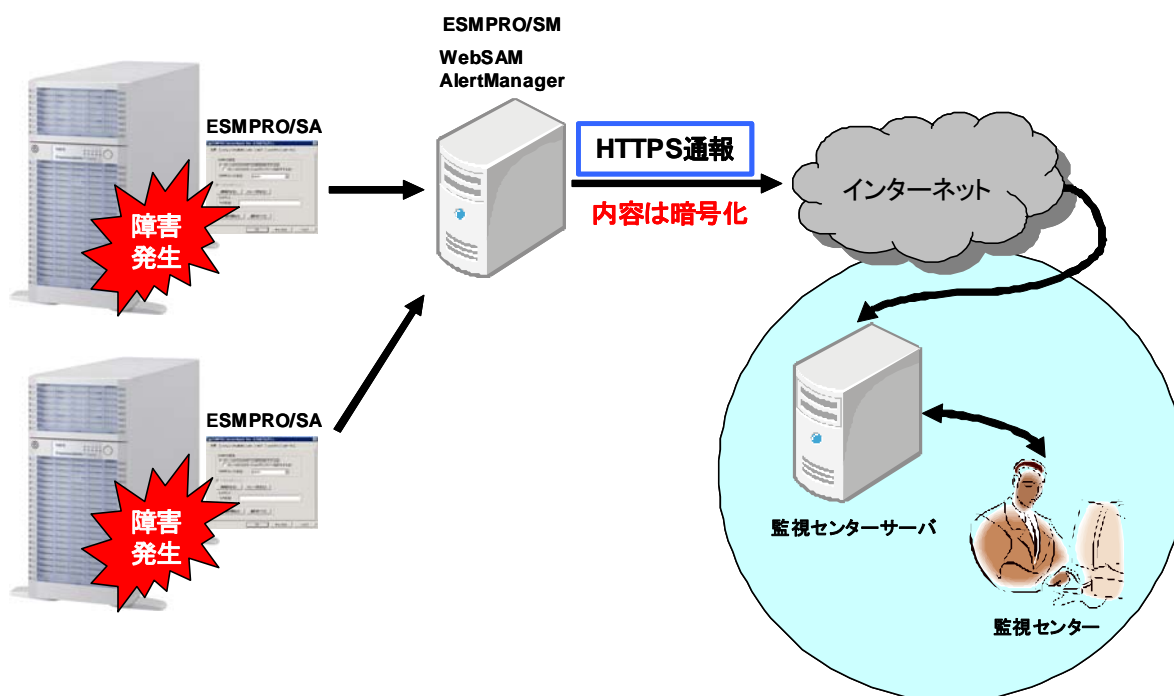


Figure 15 HTTPS 通報(エクスプレス通報サービス)

4.2.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

EE3 からの通報を一旦 ESMPRO/SM で受け、その後エクスプレス通報サービスの監視センターに対して HTTPS 通報を行う場合です。ESMPRO/SM の他に、EXPRESSBUILDER に格納されている「エクスプレス通報サービス(MG)」のインストールが必要です。EE3 を用いる為、OS 起動前の状態でも通報が可能です。

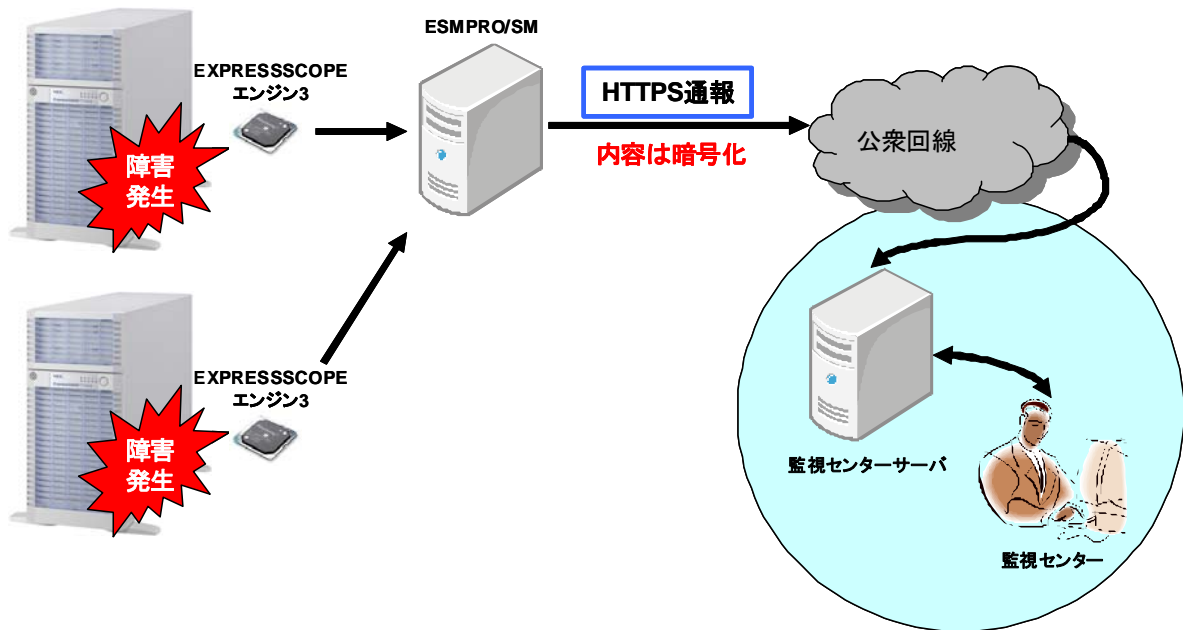


Figure 16 HTTPS 通報(エクスプレス通報サービス)

4.3. ダイヤルアップ通報

「ダイヤルアップ通報」は、「エクスプレス通報サービス」で ESMPRO/SA または ESMPRO/SM が行う通報方式の一つです。公衆回線を通して通報されますが、通信内容は暗号化した後に独自プロトコルを用いて送信する為、安全に監視センターへ通報されます。

お客様側で、公衆回線とモデムを用意していただく必要があります。

4.3.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合

ESMPRO/SA から直接エクスプレス通報サービスを利用する場合は、

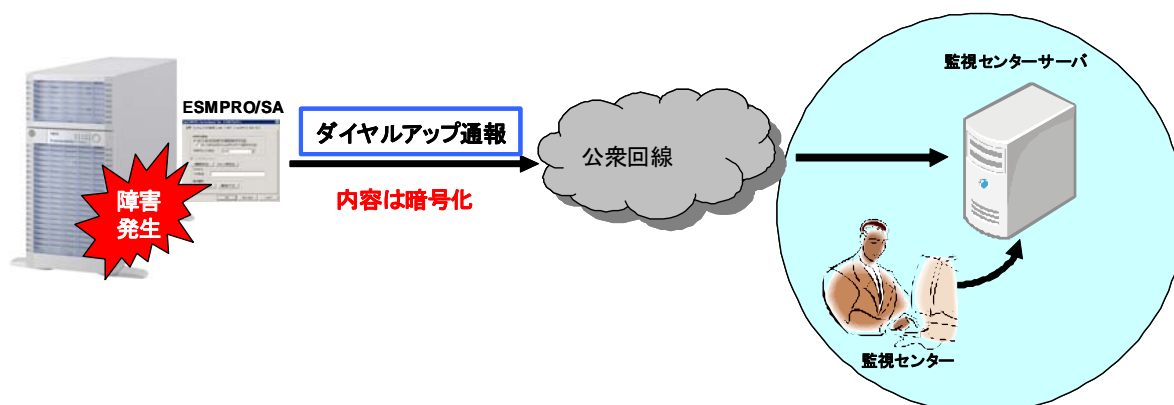


Figure 17 ダイヤルアップ通報(エクスプレス通報サービス)

4.3.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

ESMPRO/SA から一旦 ESMPRO/SM に通報を集約させ、ESMPRO/SM から監視センターへ通報を行うことが可能です。なお、WebSAM AlertManager のライセンスが別途必要です。

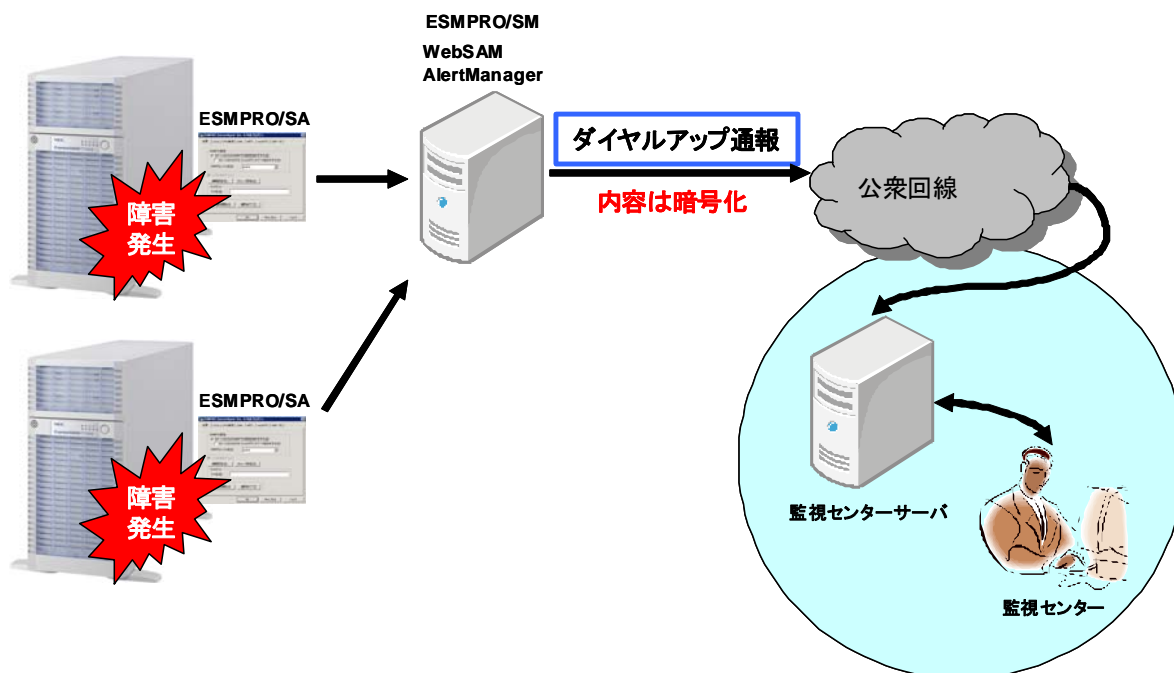


Figure 18 ダイヤルアップ通報(エクスプレス通報サービス)

4.3.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

EE3 からの通報を一旦 ESMPRO/SM で受け、その後エクスプレス通報サービスの監視センターにダイヤルアップ通報を行う場合です。ESMPRO/SM の他に、EXPRESSBUILDER に格納されている「エクスプレス通報サービス(MG)」のインストールが必要です。EE3 を用いる為、OS 起動前の状態でも通報が可能です。

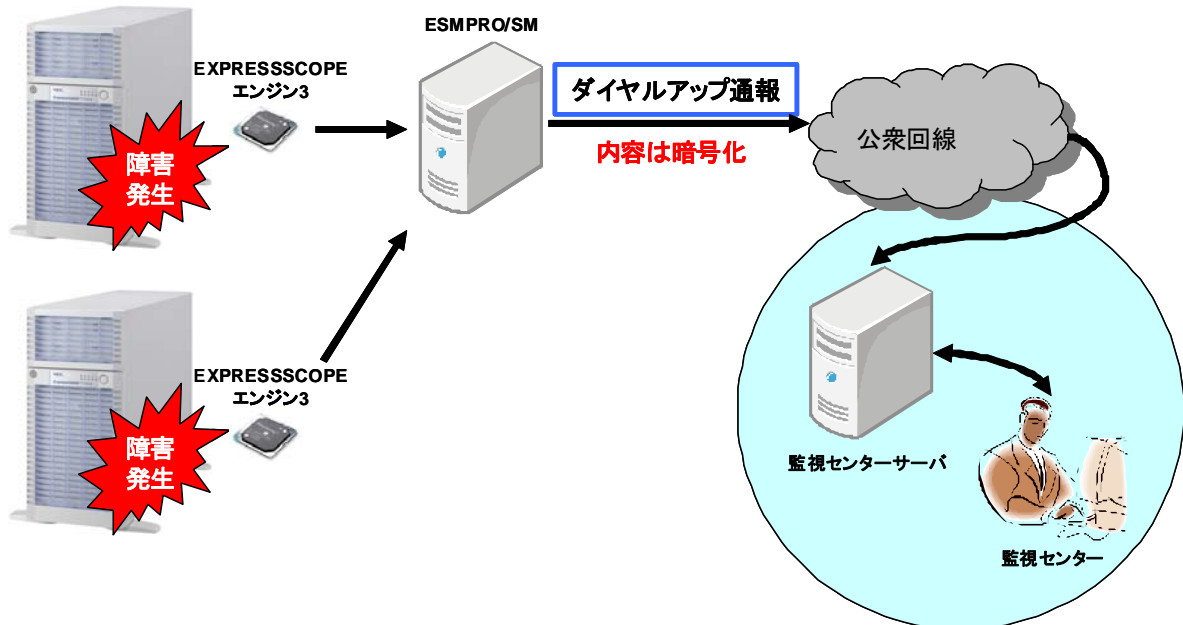


Figure 19 ダイヤルアップ通報(エクスプレス通報サービス)

5. 通報設定方法(お客様ご自身による通報管理の場合)

本章では、お客様ご自身による通報管理を行う場合の設定について記載します。エクスプレス通報サービスの設定方法については次章を参照してください。

5.1. 電子メール通報

電子メール通報の設定方法について、EE3 から通報する場合と ESMPRO/SA から通報する場合の2つの場合について記載します。

5.1.1. ESMPRO/SA から通報する場合

OS 上の ESMPRO/SA から行う電子メール通報の設定です。詳細は WebSAM AlertManager のオンラインマニュアルを参照してください。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている ESMPRO/SA を管理対象サーバにインストールする。
2. コントロールパネルの ESMPRO/ServerAgent メニューを起動し、通報設定を行う。

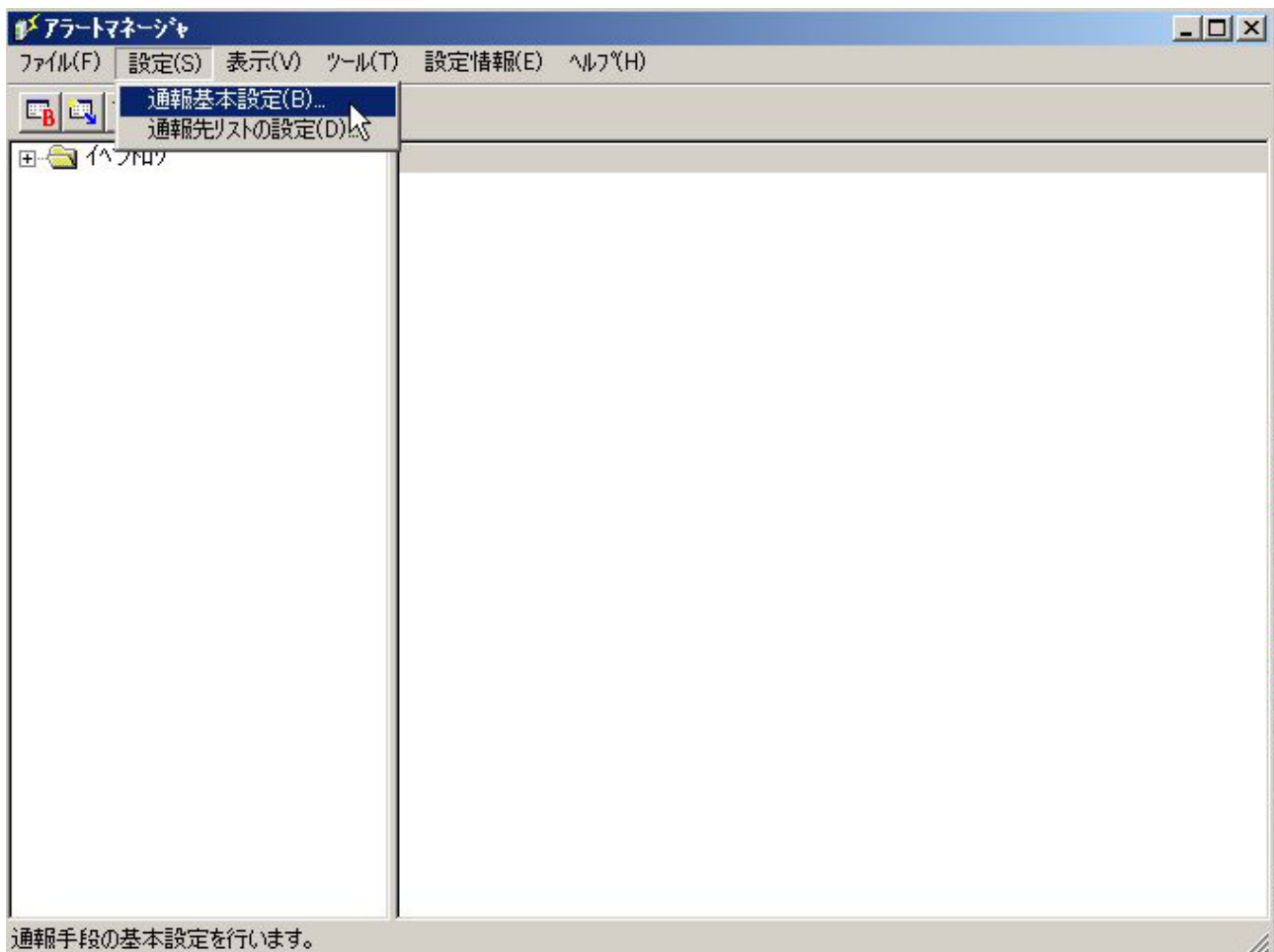


Figure 20 電子メール通報(ESMPRO/SA)

5.1.2. EE3 から通報する場合

EE3 から電子メール通報を行う場合です。EE3 への設定方法には以下の 4 種類がありますが、設定項目に大きな差分はありません。

1. EE3 の WebConsole から設定する。
2. ESMPRO/SM に管理対象サーバとして登録し、ESMPRO/SM から設定する。
3. 装置に組み込まれた Off-line BMC Configuration ツールから設定する。
4. 管理対象サーバの OS にインストールした On-line BMC Configuration ツールで設定する。

5.1.2.1. EE3 WebConsole から設定する場合

EE3 の WebConsole にログインし、以下の手順で電子メール通報の設定を行います。詳細は EE3 の ユーザーズガイドを参照してください。

1. EE3 の WebConsole にログインする。
2. 「設定タブ」→「通報」→「メール通報」を選択し、通報設定を行う。
3. 「通報テスト」ボタンを押下することで通報テストメールが送信されるため、正常に受信できたかどうかを確認する。

EXPRESSSCOPE 3 ENGINE

サーバ名: BMC8C89A584444F (172.16.0.21)

ユーザー: a [権限: アドミニストレータ] ログアウト

環境 EXPRESSSCOPE エンジン 3 について ヘルプ

システム リモートアクセス **設定** アップデート

BMC

- ネットワーク
 - プロパティ
 - サービス
 - SSL
- ユーザ管理
- 通報
 - メール通報**
 - SNMP通報
- システム操作
- ECO
- その他
- バックアップ・リストア
- System BIOS

項目名	設定値
通報	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
SMTPサーバ応答待ち時間(30-600秒)	30 秒
メール設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 宛先1(To) [必須]	mailalert_dest1@nec.co.jp
<input type="checkbox"/> 宛先2(To)	
<input type="checkbox"/> 宛先3(To)	
差出人(From)	mailalert_from@nec.co.jp
返信先(Reply-To)	reply-to@nec.co.jp
件名(Subject)	MailAlert
件名オプション	<input type="checkbox"/> 件名に通報の重要度を付加する
SMTPサーバ設定	
サーバ [必須]	172.16.0.1
ポート番号 [必須]	25
認証	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5 <input checked="" type="checkbox"/> LOGIN <input checked="" type="checkbox"/> PLAIN
ユーザ名 [必須]	user
パスワード [必須]
通報レベル設定	
通報レベル	Critical, Non-critical, Information
	宛先1 宛先2 宛先3
温度(閾値監視)	
Critical(異常)	✓
Non-critical(警告)	✓
Information	✓
電圧(閾値監視)	
Critical(異常)	✓
Non-critical(警告)	✓
Information	✓

POST Completed Successfully

電源 ID 警告

Figure 21 電子メール通報設定(EE3 WebConsole)

5.1.2.2. ESMPRO/SM から設定する場合

ESMPRO/SM から EE3 に対して、以下手順で電子メール通報の設定を行います。

1. ESMPRO/SM にログインし、管理対象サーバを登録する。
2. 管理対象サーバを選択し、「設定タブ」→「BMC 設定」→「通報」→「メール通報」を選択し、通報設定を行う。
3. 「通報テスト」ボタンを押下することで通報テストメールが送信されるため、正常に受信できたかどうかを確認する。

The screenshot shows the ESMPRO5 Manager Web interface. The top navigation bar includes the user name 'Administrator' and the role 'アドミニストレータ'. The main content area is divided into several sections:

- 構成 (Configuration):** A tree view on the left showing the system hierarchy. The selected path is 'root > Machine_room > Common > R120d-1M > BMC設定 > 通報 > メール通報'.
- 設定 (Settings):** A tabbed interface with the following tabs: '構成', '設定', 'リモート制御', and 'スケジュール'.
- メール通報 (Email Notification):** The active tab, showing the following settings:
 - 項目名 (Item Name):** 通報 (Notification)
 - 設定値 (Setting Value):** 有効 (Effective)
 - SMTPサーバ応答待ち時間 (SMTP Server Response Wait Time):** 30 秒
 - メール設定 (Email Settings):**
 - 宛先1 (Destination 1):** mailalert_dest1@nec.co.jp
 - 宛先2 (Destination 2):** (Empty)
 - 宛先3 (Destination 3):** (Empty)
 - 差出人 (From):** mailalert_from@nec.co.jp
 - 返信先 (Reply-To):** reply-to@nec.co.jp
 - 件名 (Subject):** MailAlert
 - SMTPサーバ設定 (SMTP Server Settings):**
 - サーバ (Server):** 172.16.0.1
 - ポート番号 (Port Number):** 25
 - 認証 (Authentication):** 無効 (Invalid)
 - ユーザー名 (Username):** user
 - パスワード (Password):** (Masked)
 - 通報レベル設定 (Notification Level Settings):**
 - 通報レベル (Notification Level):** 異常、警告、情報 (Abnormal, Warning, Information)
 - 宛先1 (Destination 1):** 異常 (Abnormal), 警告 (Warning), 情報 (Information)
 - 宛先2 (Destination 2):** 異常 (Abnormal), 警告 (Warning), 情報 (Information)
 - 宛先3 (Destination 3):** 異常 (Abnormal), 警告 (Warning), 情報 (Information)

Figure 22 電子メール通報設定画面(ESMPRO/SM)

5.1.2.3. Off-line BMC Configuration Tool から設定する場合

装置起動時(POST 時)に F4 キーを押下することで、起動できる設定ツールです。F4 キー押下後に「Entering ROM Utility...」と画面に表示されると、POST 完了後にツールが立ち上がります。

1. 装置起動後、POST 中に F4 キーを押下する。
2. Off-line TOOL メニューで「BMC Configuration」→「BMC Configuration」→「Mail Alert」を選択し、通報設定を行う。
3. 「Alert Test」メニューで、通報テストメールが送信されるため、正常に受信できたかどうかを確認する。

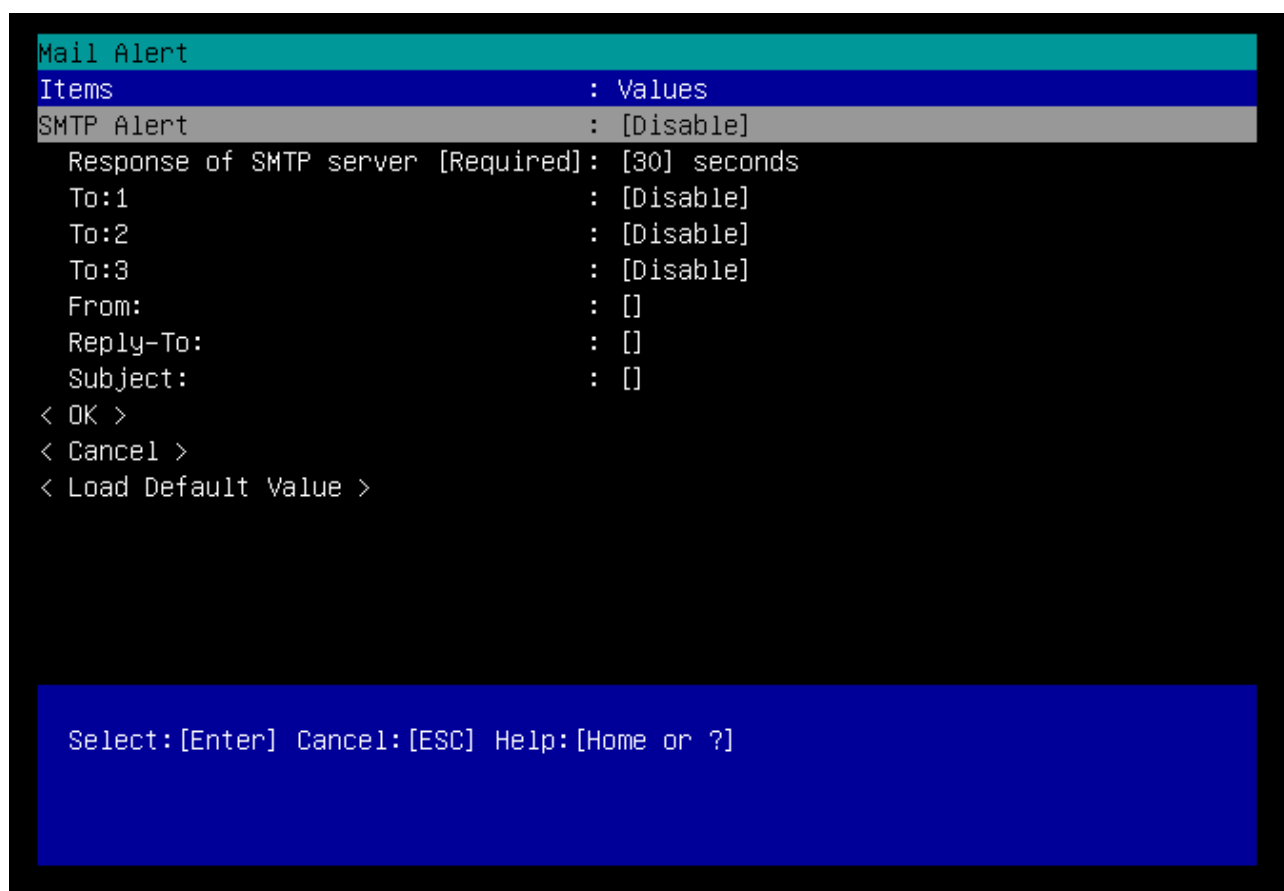


Figure 23 電子メール通報設定画面(Off-line BMC Configuration Tool)

5.1.2.4. On-line BMC Configuration Tool から設定する場合

装置に添付されている EXPRESSBUILDER に格納されている、BMC Configuration Tool を管理対象サーバの OS にインストールする必要があります。対応 OS やツールのインストール方法については、ユーザズガイドを参照してください。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている BMC Configuration Tool を管理対象サーバにインストールする
2. ツール起動後、「BMC コンフィグレーション設定」→「メール通報」タブを選択し、通報設定を行う。
3. 「通報テスト」ボタンを押下することで通報テストメールが送信されるため、正常に受信できたかどうかを確認する。

The screenshot shows the 'BMC コンフィグレーション' (BMC Configuration) window. The 'その他' (Others) tab is selected, and the 'メール通報' (Email Notification) sub-tab is active. The 'メール通報設定' (Email Notification Settings) section has '通報' (Notification) set to '有効' (Effective). The 'SMTPサーバ応答待ち時間' (SMTP Server Response Wait Time) is set to 30 seconds. The 'メール設定' (Email Settings) section has '宛先 1(To)' (Destination 1) checked and empty. The 'SMTPサーバ設定' (SMTP Server Settings) section has the 'SMTPサーバ' (SMTP Server) set to 0.0.0.0. A note below says '*IPアドレス、または、ドメイン名を入力してください。' (Enter IP address or domain name). At the bottom are buttons for 'デフォルト設定' (Default Settings), '適用' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel).

Figure 24 電子メール通報設定画面(On-line BMC Configuration Tool)

5.2. SNMP 通報

SNMP 通報の設定方法について、EE3 から通報する場合と ESMPRO/SA から通報する場合の 2 つの場合について記載します。

5.2.1. ESMPRO/SA から通報する場合

Windows OS 上の ESMPRO/SA から行う SNMP 通報の設定です。ESMPRO/SA の他に SNMP Service のインストールも必要です。詳細は ESMPRO/SA のユーザーズガイドを参照してください。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている「ESMPRO/SA」を管理対象サーバにインストールする。
2. 「管理ツール」→「サービス」→「SNMP Service」を選択し、通報設定を行う。

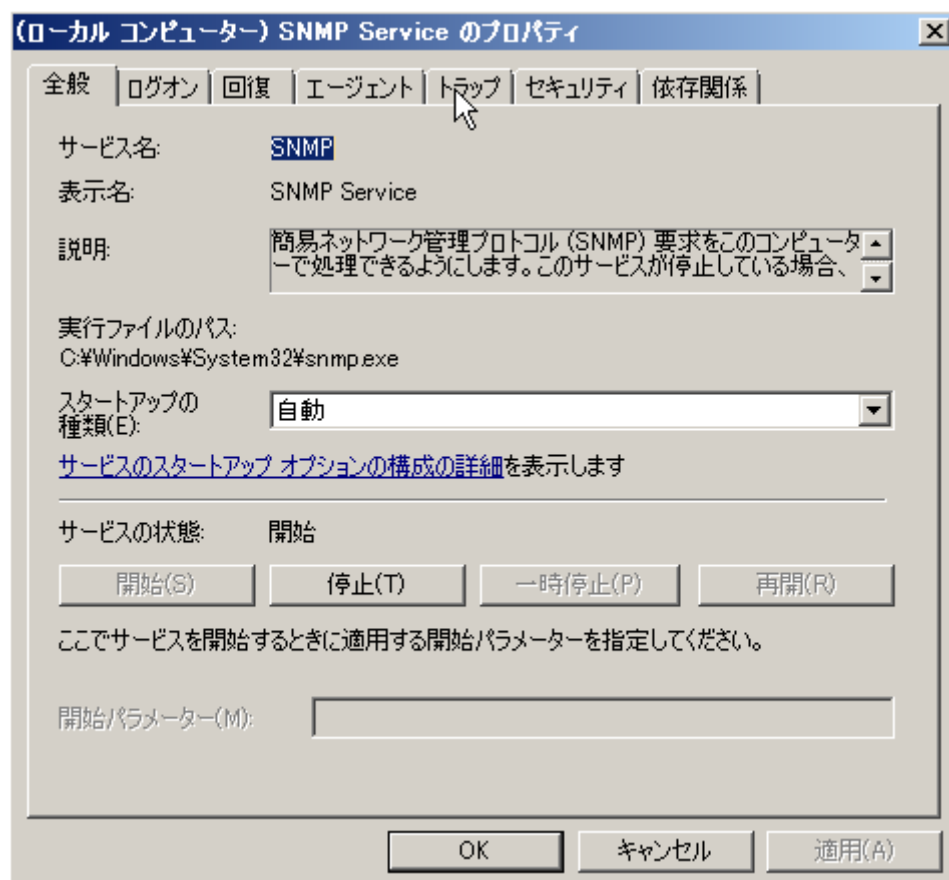


Figure 25 SNMP Service 設定画面

5.2.2. EE3 から通報する場合

EE3 から SNMP 通報を行う場合です。EE3 への設定方法には以下の 4 種類がありますが、設定項目に大きな差分はありません。なお、SNMP 通報を ESMPRO/SM で受け取る場合には、SNMP 通報設定の際に通報応答を有効にして設定する必要があります。

1. EE3 の WebConsole から設定する。
2. ESMPRO/SM に管理対象サーバとして登録し、ESMPRO/SM から設定する。
3. 装置に組み込まれた Off-line BMC Configuration ツールから設定する。
4. 管理対象サーバの OS にインストールした On-line BMC Configuration ツールで設定する。

5.2.2.1. EE3 WebConsole から設定する場合

EE3 の WebConsole にログインし、以下の手順で SNMP 通報の設定を行います。詳細は EE3 の ユーザーズガイドを参照してください。

1. EE3 の WebConsole にログインする。
2. 「設定タブ」→「通報」→「SNMP 通報」を選択し、通報設定を行う。
3. 「通報テスト」ボタンを押下することで通報テストが送信されるため、ESMPRO/SM 側で正常に受信できたかどうかを確認する。

EXPRESSSCOPE 3 ENGINE

ユーザ: a [権限: アドミニストレータ] ログアウト

環境 EXPRESSSCOPE エンジン 3 について ヘルプ

サーバ名: BMC8C89A584444F (172.16.0.21)

システム リモートアクセス **設定** アップデート

BMC

- ネットワーク
 - プロパティ
 - サービス
 - SSL
- ユーザ管理
- 通報
 - メール通報
 - SNMP 通報**
 - システム操作
 - ECO
 - その他
- バックアップ・リストア
- System BIOS

項目名	設定値																																												
通報	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効																																												
コンピュータ名 [必須]	R120d-1M																																												
コミュニティ名 [必須]	public																																												
通報手順	<input type="radio"/> 1つの通報先 <input checked="" type="radio"/> 全ての通報先																																												
通報応答確認	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効																																												
⚠ ESMPRO/ServerManager を用いて管理する場合は通報応答確認を有効に設定してください。																																													
通報トライ回数(0-7回) [必須]	0 回																																												
通報タイムアウト(3-30秒) [必須]	0 秒																																												
1次通報先																																													
<input checked="" type="checkbox"/> 通報先IPアドレス [必須]	172 . 16 . 0 . 1																																												
2次通報先																																													
<input type="checkbox"/> 通報先IPアドレス																																													
3次通報先																																													
<input type="checkbox"/> 通報先IPアドレス																																													
通報レベル設定																																													
通報レベル	Critical, Non-critical, Information																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Critical (異常)</th> <th>Non-critical (警告)</th> <th>Information</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度(閾値監視)</td> <td>✓</td> <td>✓</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>電圧(閾値監視)</td> <td>✓</td> <td>✓</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>ファン(回転数)</td> <td>✓</td> <td>✓</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>セキュリティ違反</td> <td></td> <td></td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>プロセッサ</td> <td>✓</td> <td></td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>電源モジュール</td> <td></td> <td>✓</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>メモリ</td> <td>✓</td> <td></td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>デバイスバイ</td> <td>✓</td> <td>✓</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>ログ</td> <td></td> <td>✓</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>システムイベント</td> <td></td> <td></td> <td>✓</td> </tr> </tbody> </table>		Critical (異常)	Non-critical (警告)	Information	温度(閾値監視)	✓	✓	✓	電圧(閾値監視)	✓	✓	✓	ファン(回転数)	✓	✓	✓	セキュリティ違反			✓	プロセッサ	✓		✓	電源モジュール		✓	✓	メモリ	✓		✓	デバイスバイ	✓	✓	✓	ログ		✓	✓	システムイベント			✓
	Critical (異常)	Non-critical (警告)	Information																																										
温度(閾値監視)	✓	✓	✓																																										
電圧(閾値監視)	✓	✓	✓																																										
ファン(回転数)	✓	✓	✓																																										
セキュリティ違反			✓																																										
プロセッサ	✓		✓																																										
電源モジュール		✓	✓																																										
メモリ	✓		✓																																										
デバイスバイ	✓	✓	✓																																										
ログ		✓	✓																																										
システムイベント			✓																																										

POST Completed Successfully

電源 ID 警告

Figure 26 SNMP 通報設定画面(EXPRESSSCOPE エンジン 3 WebConsole)

5.2.2.2. ESMPRO/SM から設定する場合

以下手順で、ESMPRO/SM から EE3 に対して SNMP 通報の設定を行います。

1. ESMPRO/SM にログインし、管理対象サーバを登録する。
2. 管理対象サーバを選択し、「設定タブ」→「BMC 設定」→「通報」→「SNMP 通報」を選択し、通報設定を行う。
3. 「通報テスト」ボタンを押下することで通報テストが送信されるため、ESMPRO/SM 側で正常に受信できたかどうかを確認する。

ESMPRO5 Manager Ver. 5.0

ユーザ名: Administrator [権限: アドミニストレータ] ログアウト

アラートビューア | ツール | 環境設定 | ESMPRO/Server Managerについて | ヘルプ

root > Machine_room > Common > R120d-1M > BMC設定 > 通報 > SNMP通報 [RAIDシステム管理モード: アドバンスドモード]

グループ: root

構成: サーバ設定, 接続設定, 電源オプション設定, BMC設定, ネットワーク, ユーザ管理, 通報, メール通報, SNMP通報, その他, バックアップ, リストア, リセット, BIOS設定, ESMPRO/ServerAgent External, コンソールログ設定

設定: 通報

リモート制御: スケジュール

項目名	設定値																																																																				
通報	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効																																																																				
コンピュータ名 【必須】	R120d-1M																																																																				
コミュニティ名 【必須】	public																																																																				
通報手順	<input type="radio"/> 1つの通報先 <input checked="" type="radio"/> 全ての通報先																																																																				
通報応答確認	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効																																																																				
⚠ ESMPRO/Server Managerを用いて管理する場合は通報応答確認を有効に設定してください。																																																																					
通報リトライ回数 (0 - 7 回) 【必須】	0 回																																																																				
通報タイムアウト (3 - 30 秒) 【必須】	0 秒																																																																				
通報先																																																																					
<input checked="" type="checkbox"/> 1次通報先IPアドレス 【必須】	172.16.0.1																																																																				
<input type="checkbox"/> 2次通報先IPアドレス																																																																					
<input type="checkbox"/> 3次通報先IPアドレス																																																																					
通報レベル設定																																																																					
通報レベル	異常、警告、情報																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>異常</th> <th>警告</th> <th>情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>温度(閾値監視)</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>電圧(閾値監視)</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>ファン(回転数)</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>セキュリティ違反</td><td></td><td></td><td>✓</td></tr> <tr><td>プロセッサ</td><td>✓</td><td></td><td>✓</td></tr> <tr><td>電源モジュール</td><td></td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>メモリ</td><td>✓</td><td></td><td>✓</td></tr> <tr><td>デバイスバ</td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>ログ</td><td></td><td>✓</td><td>✓</td></tr> <tr><td>システムイベント</td><td></td><td></td><td>✓</td></tr> <tr><td>異常系割込み</td><td>✓</td><td></td><td>✓</td></tr> <tr><td>ボタン/スイッチ</td><td></td><td></td><td>✓</td></tr> <tr><td>モジュール/ボード(未実装)</td><td>✓</td><td></td><td>✓</td></tr> <tr><td>システムブート/リスタート</td><td></td><td></td><td>✓</td></tr> <tr><td>ブートエラー</td><td></td><td></td><td>✓</td></tr> <tr><td>OSブート</td><td></td><td></td><td>✓</td></tr> </tbody> </table>		異常	警告	情報	温度(閾値監視)	✓	✓	✓	電圧(閾値監視)	✓	✓	✓	ファン(回転数)	✓	✓	✓	セキュリティ違反			✓	プロセッサ	✓		✓	電源モジュール		✓	✓	メモリ	✓		✓	デバイスバ	✓	✓	✓	ログ		✓	✓	システムイベント			✓	異常系割込み	✓		✓	ボタン/スイッチ			✓	モジュール/ボード(未実装)	✓		✓	システムブート/リスタート			✓	ブートエラー			✓	OSブート			✓
	異常	警告	情報																																																																		
温度(閾値監視)	✓	✓	✓																																																																		
電圧(閾値監視)	✓	✓	✓																																																																		
ファン(回転数)	✓	✓	✓																																																																		
セキュリティ違反			✓																																																																		
プロセッサ	✓		✓																																																																		
電源モジュール		✓	✓																																																																		
メモリ	✓		✓																																																																		
デバイスバ	✓	✓	✓																																																																		
ログ		✓	✓																																																																		
システムイベント			✓																																																																		
異常系割込み	✓		✓																																																																		
ボタン/スイッチ			✓																																																																		
モジュール/ボード(未実装)	✓		✓																																																																		
システムブート/リスタート			✓																																																																		
ブートエラー			✓																																																																		
OSブート			✓																																																																		

適用 キャンセル フローチャート デフォルト設定

Figure 27 SNMP 通報設定画面(ESMPRO/SM)

5.2.2.3. Off-line BMC Configuration Tool から設定する場合

装置起動時(POST 時)に F4 キーを押下することで、起動できる設定ツールです。F4 キー押下後に「Entering ROM Utility...」と画面に表示されると、POST 完了後にツールが立ち上がります。

1. 装置起動後、POST 中に F4 キーを押下する。
2. Off-line TOOL メニューで「BMC Configuration」→「BMC Configuration」→「SNMP Alert」を選択し、通報設定を行う。
3. 「Alert Test」メニューで、通報テストが送信されるため、ESMPRO/SM 側で正常に受信できたかどうかを確認する。

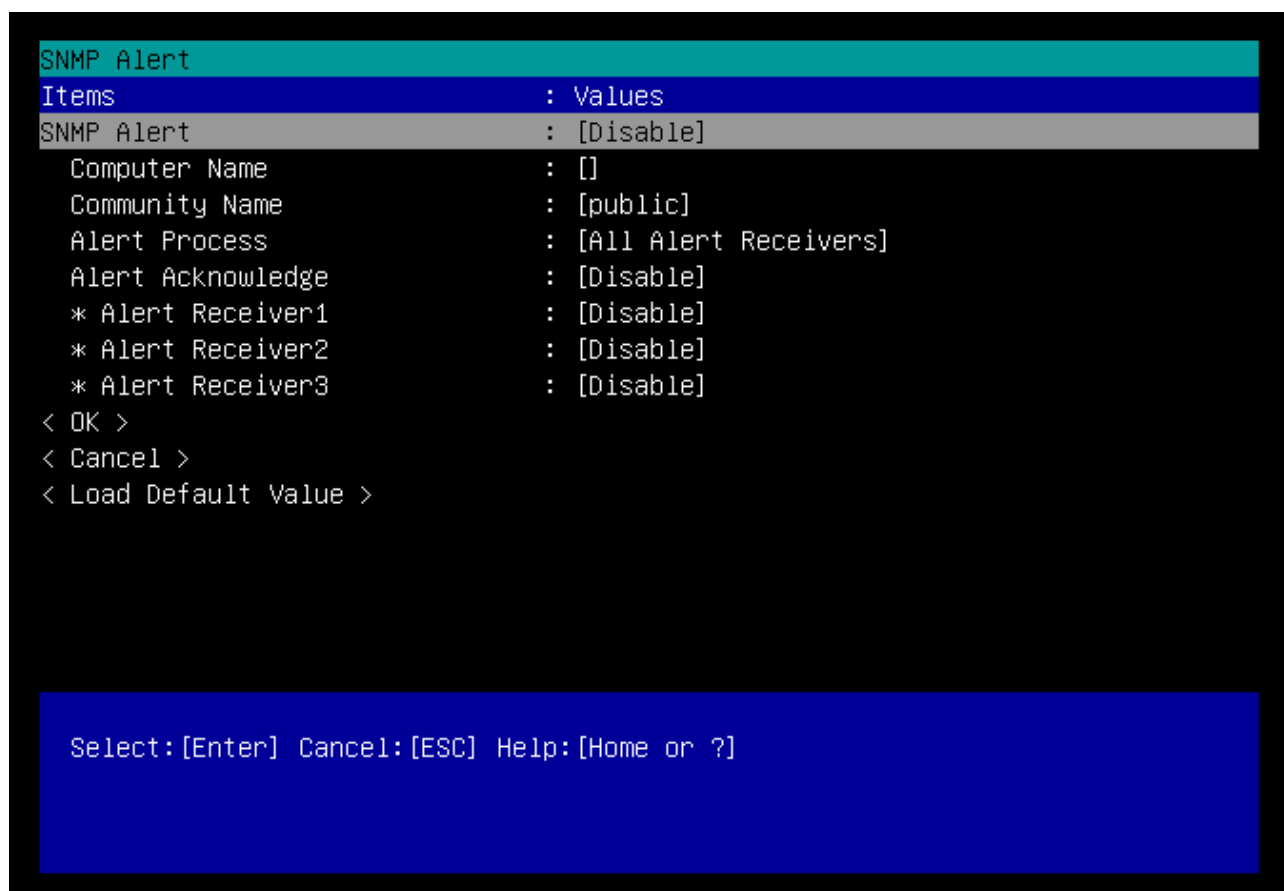


Figure 28 SNMP 通報設定画面(Off-line BMC Configuration Tool)

5.2.2.4. On-line BMC Configuration Tool から設定する場合

装置に添付されている EXPRESSBUILDER に格納されている、BMC Configuration Tool を管理対象サーバの OS にインストールする必要があります。詳細はユーザズガイドを参照してください。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている BMC Configuration Tool をインストールする
2. ツール起動後、「BMC コンフィグレーション設定」→「SNMP 通報」タブを選択し、通報設定を行う。
3. 「通報テスト」ボタンを押下することで通報テストが送信されるため、ESMPRO/SM 側で正常に受信できたかどうかを確認する。

The screenshot shows the 'BMC コンフィグレーション' (BMC Configuration) window. The 'SNMP通報' (SNMP Notification) tab is selected. The 'SNMP 通報設定' (SNMP Notification Settings) section includes:

- 通報** (Notification): ☒ 有効 (Enabled), ☐ 無効 (Disabled)
- コンピュータ名** (Computer Name): [必須] R120d-1M
- コミュニティ名** (Community Name): [必須] public
- 通報手順** (Notification Procedure): ☐ 1つの通報先 (One destination), ☒ 全ての通報先 (All destinations)
- 通報応答確認** (Notification response confirmation): ☐ 有効 (Enabled), ☒ 無効 (Disabled)
- 通報リトライ回数** (Notification retry count): 0 (0 - 7)
- 通報タイムアウト** (Notification timeout): 0 (0 - 30) 秒

The '通報先' (Notification destination) section includes:

- ☒ 1次通報先IPアドレス [必須] 172.16.0.1
- ☐ 2次通報先IPアドレス [必須] 0.0.0.0
- ☐ 3次通報先IPアドレス [必須] 0.0.0.0

The '通報レベル設定' (Notification level setting) section is empty. A '通報テスト' (Test notification) button is located to the right of the settings. At the bottom of the window are buttons for 'デフォルト設定' (Default settings), '適用' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel).

Figure 29 SNMP 通報設定画面(On-line BMC Configuration Tool)

6. 通報設定方法(エクスプレス通報サービス)

エクスプレス通報サービスの設定方法について、簡単にご説明します。設定方法の詳細については、各ユーザーズガイド、オンラインヘルプ、付録に記載の【エクスプレス通報サービス 開局マニュアル】開局マニュアルを参照してください。

監視対象装置や通報方式によって、対応ソフトウェアのインストールが必要になります。Table-2 を参照ください。また、通報方式によって開局作業の対象が異なります。次ページの Table-y を参照ください。

Table 4 エクスプレス通報サービスの開局対象

監視対象装置	①SA直接通報の開局作業対象	②SM集約通報の開局作業対象	③MG通報の開局作業対象
Express5800/50シリーズ	監視対象装置で開局作業 (ESMPRO/SAインストール要)	中継サーバで開局作業 (ESMPRO/SM、WebSAM AlertManagerインストール要) なお、テスト通報完了後に、 監視対象装置(SAインストール済)の 設定作業が必要	通報対象外
Express5800/100シリーズ			中継サーバで開局作業 (ESMPRO/SM、MG通用 インストール要) なお、監視対象装置の EXPRESSSCOPEエンジンの通報設定 が必要
FTサーバ(300シリーズ) (USBモデムを使用する場合、CPUモジュールごと にモデム・ドライバのインストール要)			
SIGMABLADE CPUブレード			
SIGMABLADE 収納ユニット	通報対象外	通報対象外	中継サーバで開局作業 (ESMPRO/SM、MG通報 インストール要) EMカード アクティブ/スタンバイにつ いて、計2回 開局作業が必要 なお、EMカード の通報設定が必要
スケーラブルHAサーバ	監視対象装置で開局作業 (SAインストール要)	中継サーバで開局作業 (ESMPRO/SM、WebSAM AlertManagerインストール要) なお、テスト通報完了後に、 監視対象装置(SAインストール済)の 設定作業が必要	中継サーバで開局作業 (ESMPRO/SM、MG通報 インストール要) なお、監視対象装置の EXPRESSSCOPEエンジンの通報設定 が必要
NX7700x シリーズ			
UNIVERGE SG3600シリーズ			
iStorage NSシリーズ			
iStorage Dシリーズ/Mシリーズ (上位装置にはESMPRO/SA、iStorageManagerを インストール要)	上位装置の開局が必要 販売店/保守会社にiStorageの 設定作業を依頼ください	中継サーバで開局が必要 (ESMPRO/SM、WebSAM AlertManagerインストール要) 販売店/保守会社にiStorageの 設定作業を依頼ください	通報対象外
iStorage NASオプション	通報対象外	通報対象外	中継サーバで開局作業 (ESMPRO/SM、MG通報 インストール要) NASコントローラごとに、計2回開局作業が必要 なお、NASコントローラのEXPRESSSCOPEエ ンジンの通報設定が必要
iStorage Tシリーズ	通報対象外	通報対象外	中継サーバ (ESMPRO/SM、MG通報 インストール要)
外付けUPS (上位装置にはESMPRO/SAと、 ESMPRO/UPSmanagerまたはESMPRO/ <u>AutomaticRunningController</u> をインストール要)	上位装置で開局作業	中継サーバ (ESMPRO/SM、WebSAM AlertManagerインストール要)	通報対象外

6.1. 電子メール通報

電子メールを用いたエクスプレス通報サービスの設定方法について記載します。

6.1.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合

ESMPRO/SA から直接エクスプレス通報サービスの監視センターに通報を送信する設定です。詳細はユーザーズガイド、オンラインヘルプ、エクスプレス通報サービスのインストレーションガイドを参照してください。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている ESMPRO/SA およびエクスプレス通報サービスを管理対象サーバにインストールする。
2. コントロールパネルの ESMPRO/ServerAgent メニューを起動し、通報設定を行う。設定には、保守契約時に配布される「開局 FD」が必要です。

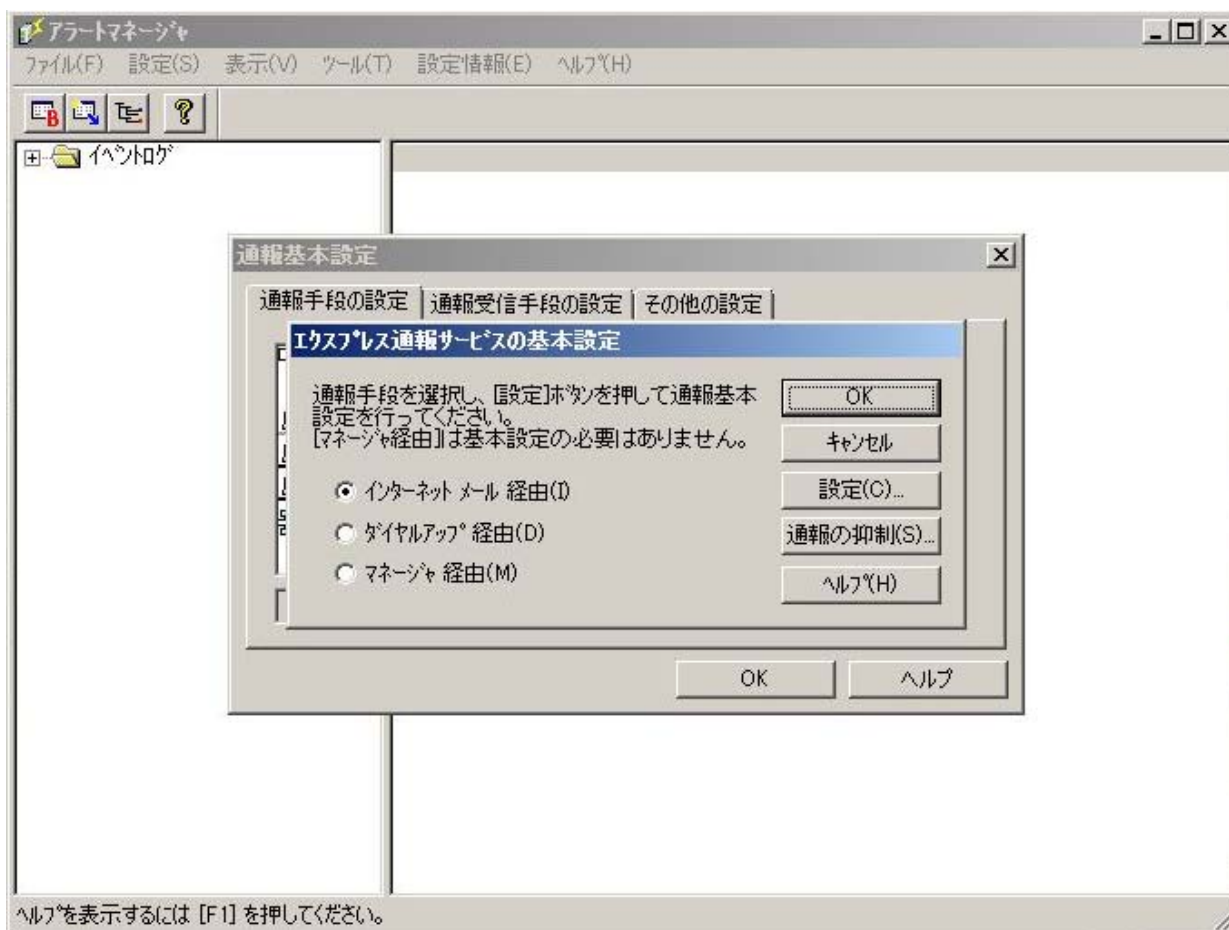


Figure 30 電子メール通報(ESMPRO/SA)

6.1.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

ESMPRO/SA から一旦 ESMPRO/SM に通報を集約し、ESMPRO/SM からエクスプレス通報サービスの監視センターに通報を送信する設定です。WebSAM AlertManager のライセンスが必要です。詳細はユーザーズガイド、オンラインヘルプ、エクスプレス通報サービスのインストレーションガイドを参照してください。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている「ESMPRO/SA」および「エクスプレス通報サービス」をインストールする。
2. コントロールパネルの ESMPRO/ServerAgent メニューを起動し、通報設定を行う。
3. WebSAM AlertManager を管理サーバにインストールし、設定を行う。

6.1.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

EE3 からの通報を一旦 ESMPRO/SM で受け、その後エクスプレス通報サービスの監視センターに電子メールで通報を行う場合です。ESMPRO/SM の他に、EXPRESSBUILDER に格納されている「エクスプレス通報サービス(MG)」のインストールが必要です。詳細はユーザーズガイド、オンラインヘルプ、エクスプレス通報サービス(MG) のインストールガイドを参照してください

1. EXPRESSBUILDER に格納されている「エクスプレス通報サービス(MG)」を管理サーバにインストールする。
2. EE3 の SNMP 通報の通報先を ESMPRO/SM に設定する。
3. エクスプレス通報サービス(MG)の設定を行う。

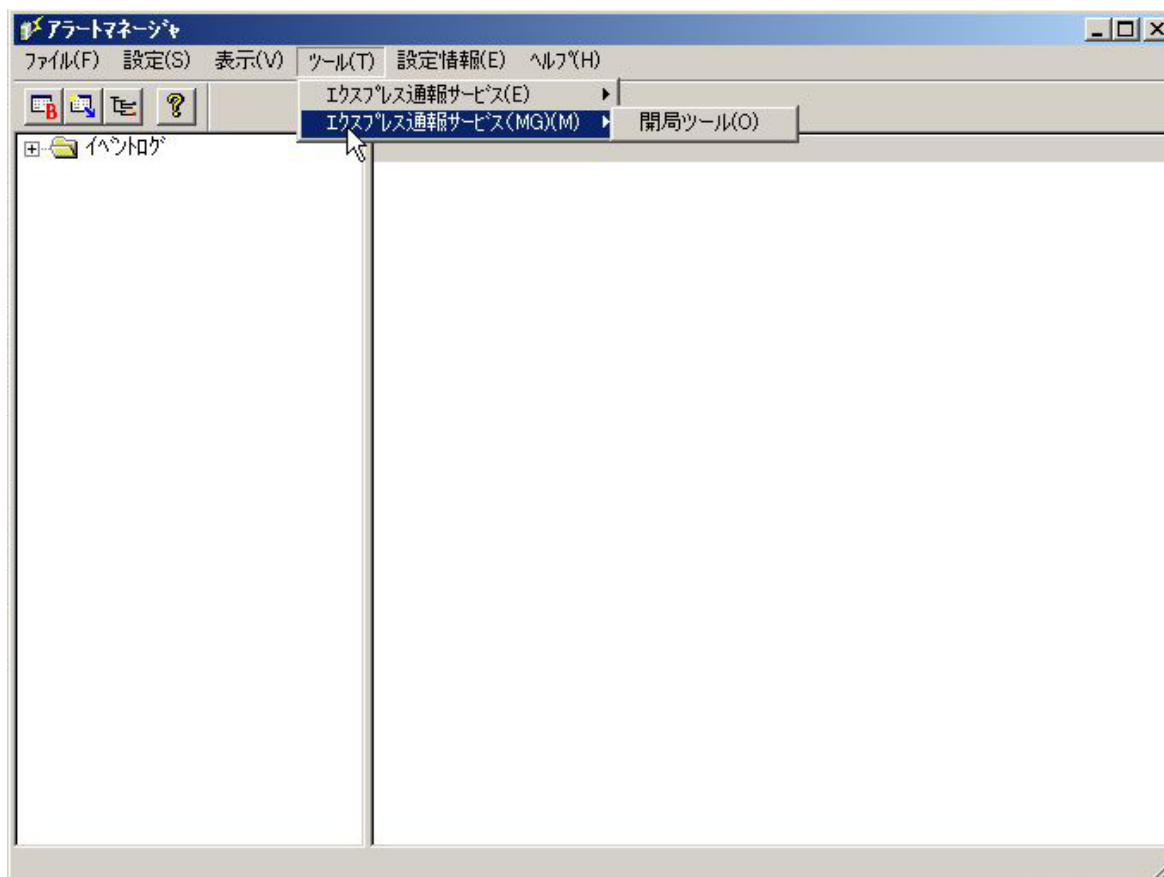


Figure 31 電子メール通報(エクスプレス通報サービス(MG))

6.2. HTTPS 通報

HTTPS 通報を用いたエクスプレス通報サービスの設定方法について記載します。

6.2.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合

ESMPRO/SA から直接エクスプレス通報サービスの監視センターに通報を送信する設定です。詳細はユーザーズガイド、オンラインヘルプ、エクスプレス通報サービスのインストレーションガイドを参照してください。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている「ESMPRO/SA」および「エクスプレス通報サービス (HTTPS)」を管理対象サーバにインストールする。
2. コントロールパネルの ESMPRO/ServerAgent メニューを起動し、通報設定を行う。設定には、保守契約時に配布される「開局 FD」が必要です。

6.2.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

ESMPRO/SA から一旦 ESMPRO/SM に通報を集約し、ESMPRO/SM からエクスプレス通報サービスの監視センターに対して HTTPS 通報を送信する設定です。WebSAM AlertManager のライセンスが必要です。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている「ESMPRO/SA」および「エクスプレス通報サービス」を管理対象サーバにインストールする。
2. コントロールパネルの ESMPRO/ServerAgent メニューを起動し、通報設定を行う。
3. WebSAM AlertManager を管理サーバにインストールし、設定を行う。

6.2.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

EE3 からの通報を一旦 ESMPRO/SM で受け、その後エクスプレス通報サービスの監視センターに対して HTTPS 通報を送信する設定です。詳細はユーザーズガイド、オンラインヘルプ、エクスプレス通報サービスのインストレーションガイドを参照してください。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている「エクスプレス通報サービス(MG)」を管理サーバにインストールする。
2. EE3 の SNMP 通報先を ESMPRO/SM に設定する。
3. エクスプレス通報サービス(MG)の設定を行う。

6.3. ダイヤルアップ通報

ダイヤルアップ通報を用いたエクスプレス通報サービスの設定方法について記載します。

6.3.1. ESMPRO/SA から直接通報する場合

ESMPRO/SA から直接エクスプレス通報サービスの監視センターに通報を送信する設定です。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている「ESMPRO/SA」および「エクスプレス通報サービス」を管理対象サーバにインストールする。
2. コントロールパネルの ESMPRO/ServerAgent メニューを起動し、通報設定を行う。設定には、保守契約時に配布される「開局 FD」が必要です。

6.3.2. ESMPRO/SA から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

ESMPRO/SA から一旦 ESMPRO/SM に通報を集約し、ESMPRO/SM からエクスプレス通報サービスの監視センターに通報を送信する設定です。WebSAM AlertManager のライセンスが必要です。

4. EXPRESSBUILDER に格納されている「ESMPRO/SA」および「エクスプレス通報サービス」を管理対象サーバにインストールする。
5. コントロールパネルの ESMPRO/ServerAgent メニューを起動し、通報設定を行う。
6. WebSAM AlertManager を管理サーバにインストールし、設定を行う。

6.3.3. EE3 から ESMPRO/SM 経由で通報する場合

BMC からの通報を一旦 ESMPRO/SM で受け、その後エクスプレス通報サービスの監視センターに対してダイヤルアップ通報を送信する設定です。詳細はユーザズガイド、オンラインヘルプ、エクスプレス通報サービスのインストレーションガイドを参照してください。

1. EXPRESSBUILDER に格納されている「エクスプレス通報サービス(MG)」を管理サーバにインストールする。
2. EE3 の SNMP 通報先を ESMPRO/SM に設定する。
3. エクスプレス通報サービス(MG)の設定を行う。

■ 付録

関連サイトのリンク集です。

1. ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgent ポータル
<http://www.nec.co.jp/pfsoft/smsa/>
2. Express テクノロジ読本 - エクスプレス通報サービス
<http://www.nec.co.jp/products/express/tech/report/index.shtml>
3. エクスプレス通報サービス 開局マニュアル(SMTP/ダイヤルアップ版)
<http://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010102124>
4. エクスプレス通報サービス 開局マニュアル(HTTPS 対応版)
<http://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010102124>
5. NEC ビジネス PC/PC サーバ お客様登録(ClubExpress)
<http://acc.express.nec.co.jp/Main/main.asp>

■ 改版履歴

版数	発行年月日	改版内容	備考
1	2013/1/9	新規作成	
2	2013/12/4	Table 2 に必要なソフトウェアについて追記	
3	2014/9/5	Figure 1,2,3,4 Table 3,4 を追記	